

6R 1100/1300/1500

取扱説明書



Power. Passion. Partnership.

アイコン

警告

警告ステッカーには、お客様や他の乗員などの健康または生命を危険にさらすおそれのある事項について記載されています。

環境に関する注意

環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供していません。

! 機器損傷警告の目的は、エンジンシステムの損傷につながる危険性にお客様の注意を引くためです。

i これらのアイコンは、お客様のお役に立つような、便利な操作方法やさらなる情報を示しています。

- ▶ このアイコンは、お客様に従っていただきたい操作を示しています。
- ▶ 連続しているアイコンは、いくつかのステップがある操作を示しています。

(▶ このアイコンは、トピックについてページのさらなる情報がある場所を示しています。)

▶▶ このアイコンは次のページに続く警告または操作を示しています。

はじめに

エンジンシステムを使用する前に、エンジンシステムについてよく知り、取扱説明書をお読みください。お客様自身や他の方に危険がおよばないようにするために役立ちます。

お客様のエンジンシステムの標準装備および製品の記述は、個々の仕様によって異なる場合があります。これはデータカードに記載されています。

エンジンシステムは最新式となるよう、常にアップデートされています。

MTU/メルセデス・ベンツは、以下について変更を行なう権利を保有しています。

- 設計
- 装備
- 技術的特徴

そのため、個々の状況によってお客様のエンジンシステムと記載が異なる場合があります。

あ

アイドリング回転数	
エンジン	28
アセンブリー装備	5
安全対策	18
安全な非常時走行のプログラム	6

う

ウォーターセパレーター付き燃料 フィルター	
水抜き	61
運転データ	75
運転の安全性	18
走行のヒント	40

え

エンジン	
運転データ	75
オイル消費量	41
故障の修理	63
始動	26
出力の変更	6
洗浄	54
停止	27
データ	73
データカード	72
データプレート	72
慣らし運転期間	40
排気量	75
エンジンオイル	
オイル交換	48
混合	49
消費	41
冬季運転用	48
補給	49
エンジンオイル油量の点検	23
エンジン概観	10
エンジン制御システム	13
エンジンデータ	73
エンジンデータカード	72
エンジンのアイドリング回転数	28
エンジンの説明	9
エンジンの停止およびスイッチ OFF	26
エンジンブレーキ	28
エンジン回転数	30

お

オイル(エンジン)	
オイル交換	48
適用範囲	48
冬季運転用	48
オイルプレッシャー	29

か

環境保護	5
寒冷時の取り扱い	44

き

緊急ギアシフト	
エマージェンシースイッチを使 用して	30

く

クーラント	
混合比	49
サービスプロダクト	49
クーラント添加剤	49

け

警告音	41
警告灯/表示灯	
エレクトロニクス	31
エンジン全般	16
ゲージ	
AdBlue®/DEF	30

こ

高圧洗浄	54
コンティニューアスプレーキ	
重要な安全上の注意事項	28

さ

サービスプロダクト	
エンジンオイル	48
クーラント	49
全般的な注意事項	47
ディーゼル燃料	50
燃料添加物	52
廃棄	47
AdBlue®/DEF	52

AdBlue®/DEF の純度	54
AdBlue®/DEF の廃棄処分	54
AdBlue®/DEF の保管	53
DEF/AdBlue®	52
サービスプロダクトの廃棄	47

し

指定サービス工場

参照 メルセデス・ベンツ指定
サービス工場

始動

参照 スイッチを ON にする
(エンジン)

始動(エンジン)	26
----------------	----

締め付けトルク	76
---------------	----

シャーシフレームの燃料プレフ
ィルターの水量を点検する

燃料プレフィルター	25
-----------------	----

車両でのデータ保存

故障データ	7
-------------	---

ジャンプスタート	62
----------------	----

充電電流	29
------------	----

重量	74
----------	----

使用開始に向けた準備

参照 使用開始

消費

燃料	40
----------	----

消費率

AdBlue® / DEF	40
---------------------	----

消費量

オイル(エンジン)	41
-----------------	----

人員	19
----------	----

診断機の接続部	19
---------------	----

す

スタッフの資格	19
---------------	----

寸法	73
----------	----

せ

清掃と手入れ

高圧洗浄	54
------------	----

洗浄および手入れ

エンジンの洗浄	55
---------------	----

手入れに関する注意事項	54
-------------------	----

そ

走行モード

アイドリング回転数	28
-----------------	----

操作安全性と登録

エンジン性能の変更	6
-----------------	---

黙示的保証	7
-------------	---

操作モニター	29
--------------	----

組織的対応	19
-------------	----

た

タコメーター	30
--------------	----

正しい使用方法	7
---------------	---

て

ディーゼル

燃料	50
----------	----

低い外気温度	51
--------------	----

補給	41
----------	----

手入れ用品	54
-------------	----

データカード	72
--------------	----

テクニカルデータ

運転データ	75
-------------	----

重量	73
----------	----

寸法	73
----------	----

排気量	75
-----------	----

電子エンジンコントロールユニッ
ト

ト	29
---------	----

電子式エンジンコントロール

参照 エンジン制御システム

と

冬季用ディーゼル	51
----------------	----

凍結防止液 / 防錆剤	49
-------------------	----

トラブルサービス	58
----------------	----

取扱説明書

全体的な注意事項	8
----------------	---

取付け	22
-----------	----

な

慣らし運転	40
-------------	----

ね

燃料

消費	40
----------	----

ディーゼル	50	メンテナンス	
添加物	52	注意	46
補給	41		
燃料システム			
自動エア抜き	59		
手動エア抜き	59		
燃料システムのエア抜き			
手動燃料ポンプでのプレフィル ターのエア抜き	60		
燃料等級	51		
は		ゆ	
排気ガス後処理装置の識別プレー ト	72	輸送	21
排気量	75		
バッテリー(車両)			
ジャンプスタート	62		
ひ		れ	
ビークルプレート	72	冷却水	
非常時走行プログラム	6	補充	24
ヒューズ			
安全ヒューズの点検と交換	61		
重要な安全上の注意	61		
ふ		英字	
ブザー	41	排気ガス後処理システム	15
ブレーキ		AdBlue [®] / DEF	
コンティニューアスブレーキ	28	消費率	40
ブレーキ操作		補給	43
エンジンブレーキ	28	AdBlue [®] /DEF	
リターダー	28	ゲージ	30
		サービスプロダクト	52
		重要な安全上の注意事項	43
		ADM(FR(ドライブコントロール) ユニット)	9
		DEF/AdBlue [®]	
		参照 AdBlue [®] /DEF サービス プロダクト	
		Vベルト	
		取回し	68
ほ			
補給			
燃料	41		
AdBlue [®] / DEF	43		
ポリ V ベルト			
交換	68		
め			
メルセデス・ベンツ純正部品	6		
メルセデス・ベンツ指定サービス 工場	8		

エンジンシステム

これらの取扱説明書では、"エンジンシステム"の用語は、エンジンおよび排気ガス後処理装置システムの組み合わせを指しています。エンジンおよび排出ガスコントロールシステムは、認証の必要な部品です。エンジンシステムは、エンジンと AdBlue®処理リアクターおよび AdBlue®供給システム付きの排気ガス後処理装置ユニット部品が1つのユニットとして承認されています。

排気ガス後処理装置装備エンジンシステムは、バージョンによって以下の排出ガスレベルに適合します。

- EU Stage IV
- US Tier 4
- 日本 2014 年 - 平成 26 年
- 韓国 Tier 4

排気ガス後処理装置システム非装備エンジン

この書類に記載されている排気ガス後処理装置システム非装備エンジンは、"EU Stage IIIA"排出ガスレベルに適合しています。これらは、"ECE-R 96 第 5.2.1 章パワーバンド H または I"指令に従って認定されています。"EU Stage IIIA"という用語は EU 指令 97/68 から取ったもので、今でも一般的な言い回しで使用されており、この書類でも使用されています。"EU Stage IIIA"排出ガスレベルは、関連の排気ガス後処理装置ユニットなしで認証されています。サイレンサー付排気マフラーが排気ガス後処理装置ユニットの代わりに使用されます。これは、使用される排気マフラーは車両または装備によって決まり、車両製造元/装置メーカーにより提供される取扱説明書で扱われているということです。

AdBlue®/DEF 還元剤は必要ありません。

環境保護

🕒 環境上の注意事項

Daimler AG は、総合的な環境保護を理念のひとつとして宣言しています。

その目的は、天然資源を有効に、かつ自然および人類両方の要求を考慮に入れた方法で利用することにあります。

環境に対して責任ある方法で車両を使用することにより、運転者もまた環境を保護する支援を行なうことができます。

環境に対して責任のある、燃料を節約した方法で走行することについての情報および注意事項は、"操作についての注意事項"にあります (▷ 40 ページ)。

アSEMBリー装備

これらの取扱説明書には、取扱説明書の発行時点での全モデルおよびお客様のエンジンシステムで使用可能な標準およびオプション装備のすべてが記載されています。国別仕様による違いがあることがあります。お客様のエンジンシステムが、記載されているすべての機能を装備していないことがあることにも注意してください。これは、安全についてのシステムおよび機能にも当てはまります。そのため、エンジンシステムの装備がいくつかの記載およびイラストと異なることがあります。

エンジンシステムのすべての構成部品は、エンジンシステムのデータカードに記載されています。データカード (▷ 72 ページ)。

車両装備または操作についてのご質問がある場合は、MTU または MTU 認定のメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください (▷ 8 ページ)。

メルセデス・ベンツ純正部品

🌀 環境

Daimler AG では、新品同様の品質を持つ、リサイクルしたアSEMBリーやパーツも供給しています。新品と同様の保証が適用されます。

メルセデス・ベンツにより承認されていない部品を使用した場合は、エンジンシステムの作動安全性が損なわれることがあります。安全性についてのシステムの不具合につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ純正部品または同品質の部品のみを使用してください。お客様のエンジンタイプに承認された部品のみを使用してください。

メルセデス・ベンツは、メルセデス・ベンツ純正部品の以下を確認しています。

- 信頼性
- 安全装備
- 適合性

市場調査を行ってはいますが、メルセデス・ベンツはあらゆる部品の評価を行うことができません。そのため、公的に承認されている、または検査機関で個別に承認されている場合でも、メルセデス・ベンツ車両でのそのような部品の使用にはいかなる責任も負いません。

ドイツでは、法的要件に準拠している場合は、取り付け、または改造にのみ公的に承認されている部品もあります。他のいくつかの国でもこれが適用されます。メルセデス・ベンツのすべての純正部品は承認要件を満たしています。承認されていない部品の使用は、車両の一般的な使用許可を無効にすることがあります。

以下の場合に該当します。

- 車両の一般的な使用許可が保証されたものから車両タイプを変更してある
- 道路使用者に危険をおよぼすおそれがあるもの
- 排出ガスまたは騒音レベルに悪影響を与えるもの

メルセデス・ベンツ純正部品を注文するときは、主要なアSEMBリーシステム ID 番号 (AGS ID)、エンジン番号および排気ガス後処理装置システムの番号を常に指定してください。これらの番号は、データカードにもあります (p. 72 ページ)。

排気ガス後処理装置ユニットおよび排気ガス後処理装置コントロールユニット (ACM) は、EU Stage IIIA 排出物認定には使用されません。

エンジン出力の変更

❗ 出力が増加すると以下になることがあります。

- 排気物レベルの変更
- 不具合の原因
- 派生的損傷の原因

すべての状況で、エンジンの操作安全性が保証されているわけではありません。

エンジン出力を増加させるためにエンジン制御システムを改造することは、保証の権利の喪失につながります。

安全/エマージェンシー運転プログラム

エンジンには、エンジンおよび排気ガス後処理装置ユニット (EU Stage IIIA 用ではない) だけでなくそれ自身 (自己診断) もモニターするエンジン電子制御システムが装備されています。

電子制御システムが不具合を検知した場合は、不具合の評価の後に以下の措置の1つが自動的に実行されます。

- 作動中の故障が対応する警告灯により示されます (▷ 31 ページ)。
- エンジン電子制御システムとの組み合わせにより、追加情報のある故障コードがディスプレイに表示されます。
- システムは適切なバックアップ機能に切り替わり、限定的ではあってもエンジンの作動が継続できるようにします。例えば、これにはトルクおよびエンジン回転数の制限、ならびに走行速度制限または一定の緊急走行速度が含まれます。

正しい使用方法

エンジンシステムは、契約で規定された通りにのみ取り付けなければなりません。

システム全体に、エンジンおよび排気ガス後処理装置システム (EU Stage IIIA 用ではない) を正しく取り付ける責任は最終製品のメーカーにあります。

エンジンおよび排気ガス後処理装置システムを改造しないでください。改造した場合、メルセデス・ベンツおよびMTUは結果として生じるいかなる損傷の責任も負いません。

エンジンシステムの正しい使用のためには、これらの取扱説明書の説明を守る必要があります。これには、点検整備時期の準拠および専門家によるメンテナンス作業の実施が必要です。ワークショップ情報システム (WIS) に従ってください (▷ 8 ページ)。

一般保証

! アセンブリーの正しい操作およびアセンブリーへの考えられる損傷に関するこれらの取扱説明書の注意事項に従ってください。

これらの注意事項に対する責められるべき違反により生じたアセンブリーの損傷は、一般保証の対象になりません。

保存したデータ

いくつかのエンジンシステムの電子構成部品にはデータメモリーが含まれています。これらのデータメモリーは、一時的にまたは常時、以下に関する技術的情報を保存します。

- エンジンシステムの状態
- 事象
- 不具合

一般には、この技術的情報は、構成部品、モジュール、システムまたは周辺環境の状態が記されています。

例えば以下が含まれます。

- システム構成部品の作動条件。例えば、フルードレベル
- 車両/装備および、速度、走行中の減速、アクセルペダルの位置などの個別の構成部品の状況メッセージ
- 重要なシステム構成部品の不具合と異常
- 特殊な走行状況での車両/装備の反応および作動状態
- 外気温度などの周囲の状況

このデータは本来技術専用で、以下に使用することができます。

- 故障や異常の検知および修理を支援する
- 事故後など車両機能を分析する

データは、車両の動きを調べるために使用することはできません。

使用可能なサービスのいずれかを使用するときは、技術的情報を事象データメモリーおよび故障データメモリーから読み取ることができます。

例えばサービスには以下が含まれます。

- 修理サービス
- 点検整備工程
- 一般保証および保証状況
- 品質保証

情報は、専用の診断テスターを使用してサービスネットワーク（メーカーを含む）のスタッフによって読み取られます。必要な場合は、さらなる情報が使用できます。故障が修理された後に、情報は故障メモリーから削除されるか、常時上書きされます。

指定サービス工場

! コントロールユニット、センサー、アクチュエーター部品、コネクタケーブルなど、電子制御部品およびその関連部品に関わる点検整備や修理などの作業は、必ず指定サービス工場に依頼してください。さもないと、車両の構成部品が通常より早く摩耗したり、保証を適用できないことがあります。

指定サービス工場は、エンジンについて専門的基準から必要とされる作業を実施するために必須な専門的知識、工具、および資格を有しています。これは特に安全関連の作業に当てはまります。

整備手帳の注意事項に従ってください。

以下のメンテナンス作業は常に指定サービス工場で行ってください。

- 安全性に関連する作業
- 整備作業およびメンテナンス作業
- 修理作業
- 取り付け、架装および改良
- 電子構成部品の作業

MTU または MTU 認定メルセデス・ベンツパートナーにご相談ください（裏表紙内側の発行物の詳細に記載された住所をご覧ください）。

その他の適用書類

これらの取扱説明書には、すべてのモデルおよび Daimler AG の納車範囲内でお客様のエンジンシステムで使用可能な標準およびオプション装備のすべてが記載されています。車両/装備へのエンジンシステムの取り付けは、車両/装備およびその適切な使用に適用される補足の取扱説明書が必要になることがあります。これらの補足の取扱説明書は、車両製造元/装備メーカー（最終製品のメーカー）により提供されています。補足の取扱説明書は、特に取り付け、および作動に特有の機能、そのような機能の使用法、ならびに警告および制御機構について記載しています。

エンジンを正しく使用するためには、整備手帳も必要です。

米国で認定された作業現場用エンジンでは、"排出ガス保証" 補足版も必要です。

これらの書類は常に、エンジン、車両または装置と一緒に保管してください。エンジン、車両または装置を売却する場合は、これらの書類を新しい所有者に引き渡してください。

メンテナンス作業を実施するときは、インターネット経由でワークショップ情報システム (WIS) にアクセスする必要があります。このアクセスは無料です。

システムおよび価格に関する最新情報は、このアドレスのウェブサイトにあります：
<http://service-parts.mercedes-benz.com>。"点検整備および部品に関する情報" タブの "EPC, WIS/ASRA" をクリックして、それから "WIS" をクリックします。右側の "Register (登録)" をクリックすることによりログインできます。

全般的な情報

エンジンは、4 ストローク水冷直噴ディーゼルエンジンです。

エンジンには、コモンレール式燃料噴射システム、冷却および制御式排気ガス再循環装置およびチャージエアプレッシャーコントロール付排気ガスターボが装備されています。

バルブギアには、上部にギアホイール駆動による2つのカムシャフトがあります。

エンジンは、一体式シリンダーヘッドが特徴です。シリンダーヘッドには、シリンダーあたり2つのインテークバルブと2つのエキゾーストバルブがあります。バルブは対称的に配列されています。対称的なバルブ配列は、燃焼に最適なものです。

排気ガス後処理装置ユニットは、以下の技術により特徴付けられています（EU Stage IIIA 用ではない）。

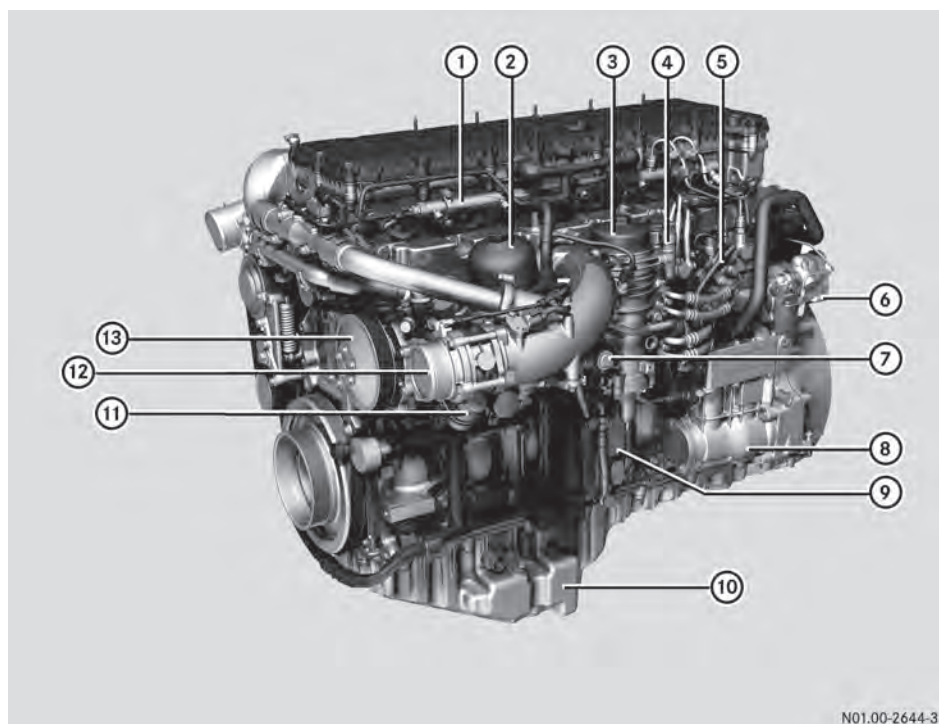
- ディーゼル酸化触媒コンバーター（DOC）
- アンモニアスリップ触媒コンバーター付選択触媒還元（SCR）

エンジンブレーキは減圧ブレーキです。高い制動力を与える、制御式エキゾーストバルブがあります。エンジンブレーキは、段階的に制御または調整することができます。

コモンレール式燃料噴射システム

エンジンは、増圧コモンレールシステム（APCRS）を使用する燃料噴射システムを装備しています。これにより、燃焼に必要な燃料の量を最小限にします。このシステムの利点は、レールおよび高圧カラインの圧力が比較的低いことです。バキュームトランスデューサーにより、インジェクター内部の燃料圧力が必要に応じて2段階で増加します。これは特に、材料疲労および構成部品の耐久性に良い効果があります。

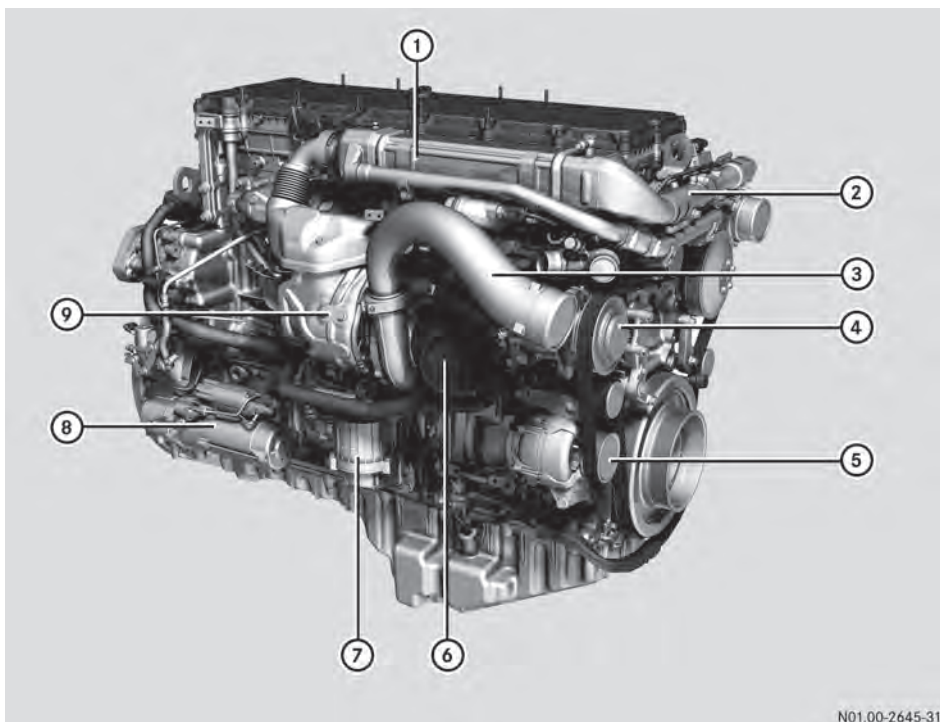
エンジン外観



N01.00-2644-31

エンジン概要： 6R 1100

- ① レール
- ② オイルフィルター
- ③ 燃料フィルター
- ④ 燃料ハンドポンプ
- ⑤ 高圧給油ポンプ
- ⑥ パワーステアリングポンプ
- ⑦ 外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ
- ⑧ エアコンプレッサー
- ⑨ エンジン制御コントロールモジュール (MCM)
- ⑩ オイルパン
- ⑪ 冷却水サーモスタット
- ⑫ チャージエアパイプ (冷)
- ⑬ 冷却水ポンプ

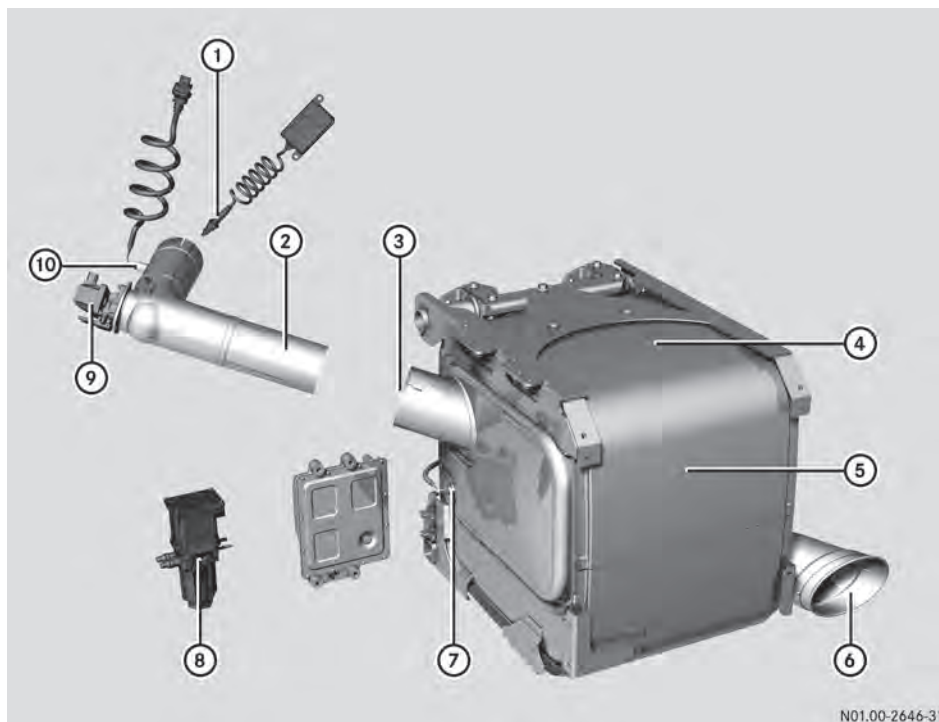


N01.00-2645-31

エンジン概要：6R1100

- ① 排気ガス再循環装置クーラー
- ② 排気ガス再循環装置パイプ（冷）
- ③ チャージエアパイプ（熱）
- ④ 冷却コンプレッサー
- ⑤ オルタネーター
- ⑥ エアフィルターからの外気取り入れ口
- ⑦ クランクケースベンチレーション
- ⑧ スターターモーター
- ⑨ 排気ガスターボチャージャー

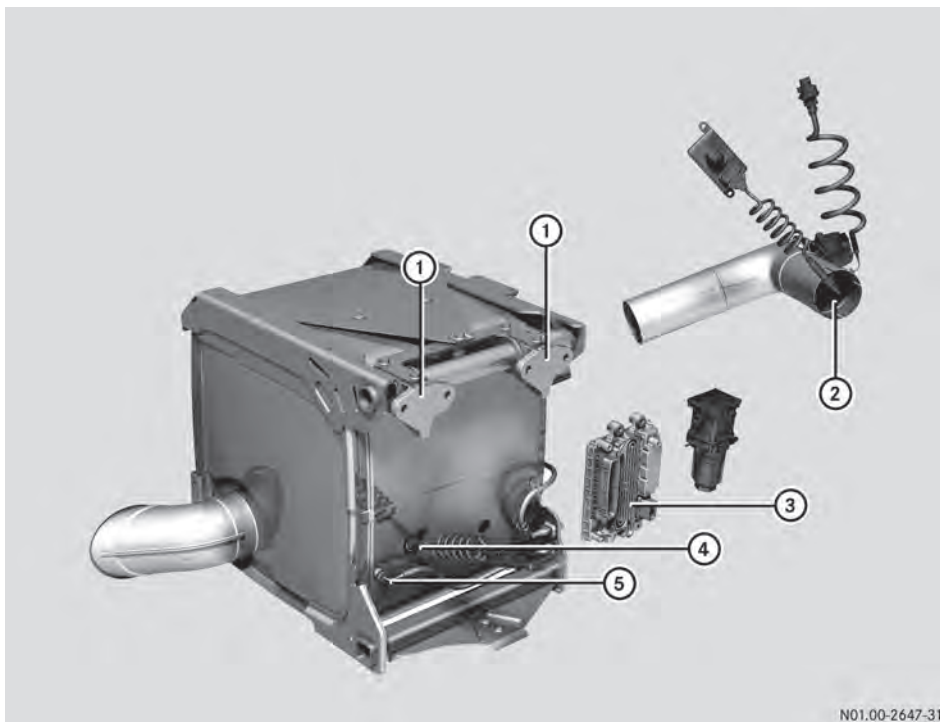
排気ガス後処理装置の概要



N01.00-2646-31

排気ガス後処理装置ユニット（EU Stage IIIA 用ではない）

- ① 排気ガス後処理装置システム吸気口にある窒素酸化物センサー
- ② AdBlue[®]混合管
- ③ AdBlue[®]混合管からの排気ガス吸気口
- ④ 排気ガス後処理装置の識別プレートの位置
- ⑤ 排気ガス後処理装置システムのボックス
- ⑥ 排気ガス排出口
- ⑦ SCR 触媒コンバーター上流の排気ガス温度センサー
- ⑧ ポンプモジュール
- ⑨ AdBlue[®]または DEF メタリングユニット
- ⑩ AdBlue[®]測定装置上流の排気ガス温度センサー



排気ガス後処理装置ユニット（EU Stage IIIA 用ではない）

- ① 取付ブラケット
- ② エンジンからの排気ガス吸気口
- ③ 排気ガス後処理装置システムコントロールユニット（ACM）
- ④ 排気ガス後処理装置システム排出口にある窒素酸化物センサー
- ⑤ SCR 触媒コンバーター下流の排気ガス温度センサー

エンジン電子制御

エンジンシステムには、以下のコントロールユニットで構成されるエンジン電子制御システムが装備されています。

- エンジン制御コントロールモジュール（MCM）
- ドライブコントロールシステムユニット（CPC）
- 排気ガス後処理装置コントロールモジュール（ACM）（EU Stage IIIA 用ではない）

コントロールユニットは電子ネットワークで接続されています。データは CAN（Controller Area Network：コントローラーエリアネットワーク）経由で交換されます。

エンジン、排気ガス後処理装置および車両/装備の接続部に加えて、エンジン電子制御システムはそれ自身のモニターも行います。発生した不具合または故障によって、警告灯および表示灯が作動します（▶ 16 ページ）。不具合は故障メモリーに保存され、必要な場合はセーフティおよびエマージェン

シーモードが自動的に選択されます (▷ 29 ページ)。エンジン電子制御システムが故障を検知すると、コントロールユニット内に故障コードが保存されます。指定サービス工場で (▷ 8 ページ)、診断テスターを使用して読み取ることができます。

エンジン制御コントロールモジュール (MCM)

エンジン制御コントロールモジュール (MCM) はエンジンの側面にあります。エンジンおよび車両のドライブコントロールシステムユニット (CPC) にある電気および電子構成部品間のインターフェースとして作動します。

エンジン制御コントロールモジュール (MCM) には以下の多くの機能があります。

- コモンレール燃料噴射システムの噴射制御

エンジン制御コントロールモジュール (MCM) は、ドライブコントロールシステムユニット (CPC) からのトルク要求を考慮しながら、最適な始動と噴射量を算出します。

出力またはエンジンを保護するために使用するデータなどの、このために必要なすべてのデータはエンジン制御コントロールモジュール (MCM) に保存されます。

- 排気ガス再循環装置 (EGR) の調整
再循環された排気ガスの量と新鮮な空気の量の割合は、エンジン回転数域全体で正しく調整されます。
- チャージエアプレッシャーコントロール
- エンジンブレーキの制御

エンジン制御コントロールモジュール (MCM) は、ドライブコントロールシステムユニット (CPC) により必要に応じてエンジンブレーキを制御します。

- ファン調整

最適なファン調整で、ファンクラッチにあるソレノイドバルブは冷却水温度に応じて作動します。

- メーターパネルディスプレイ
メーターパネルのディスプレイのために、エンジン制御コントロールモジュール (MCM) は以下を検知します。
- エンジンオイルレベル
- エンジンオイル温度
- 油圧
- 冷却水温度
- エンジン回転数

ドライブコントロールシステムユニット (CPC)

ドライブコントロールシステムユニット (CPC) は、車両製造元/装備メーカーにより車両/装備の保護された場所に取り付けられています。車両/装備の電気および電子構成部品、およびエンジンのエンジン制御コントロールモジュール (MCM) の間のインターフェースとして作動します。

ドライブコントロールシステムユニット (CPC) には以下のたくさんの機能があります。

- 要求トルクの算出

ドライブコントロールシステムユニット (CPC) は運転者の要求を登録します。例えば、アクセルペダルの位置はドライブコントロールシステムユニット (CPC) によって検知されます。トルク要求はそれから算出され、CAN 接続経由でエンジン制御コントロールモジュール (MCM) に送信されます。

そうするときには、ギアボックスコントロール、リターダーコントロール、ABS および ASR のようなオプションで接続

されているコントロールユニットからの情報や制限が考慮されます。

- メーターパネルに表示されるディスプレイおよび表示信号の出力
- 例えば冷却水レベル、充電電流およびエアフィルターのモニター
- 法定速度制限
- 始動要求の評価

対応する始動要求があるとすぐにエンジン始動プロセスが開始されます（エンジンスイッチまたは外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ）。

排気ガス後処理装置コントロールモジュール (ACM) (EU Stage IIIA 用ではない)

排気ガス後処理装置コントロールモジュール (ACM) は、車両製造元/装備メーカーにより車両/装備の保護された場所に取り付けられています。排気ガス後処理装置を調整し制御します。

排気ガス後処理装置コントロールモジュール (ACM) の機能

- センサー信号の評価

直接接続されたセンサーのセンサー信号が評価されます。エンジン制御コントロールモジュール (MCM) および窒素酸化物センサーのコントロールユニットにより、CAN 経由で提供されたデータも評価されます。

- AdBlue®/DEF 噴射

AdBlue®/DEF の必要量の算出および SCR デリバリーポンプの作動による AdBlue®/DEF の供給。

AdBlue®/DEF 測定ユニットの作動による噴射。

BlueTec®排気ガス後処理装置 (EU Stage IIIA 用ではない)

エンジンが始動した後は、ただちに排気ガス後処理装置システムが作動し、エンジンがかかっている間は作動したままになります。排気ガスの汚染排出物は、排出物規制に規定されている制限まで減少します。

排気ガスの処理は以下により行われます。

- アンモニアスリップ触媒コンバーター付選択触媒還元 (SCR)
- ディーゼル酸化触媒コンバーター (DOC)

排気ガス後処理装置システムの正しい作動を確保するために、除去剤 AdBlue®でのみエンジン/車両を作動させてください。AdBlue®/DEF は、メンテナンス作業の一部としては補充されません。そのため、AdBlue®/DEF タンクは定期的に補充してください。

AdBlue®/DEF なしで、またはメルセデス・ベンツまたは MTU に承認されていない他の手段で車両または装備を作動させると、エンジンの使用許可または承認が無効になります。

排気ガス再循環装置

排気ガス再循環装置 (EGR) は、主に排気ガス後処理前に窒素酸化物の量を低下させるために使用されます。これは排ガス規制に準拠するために役立ちます。

燃焼混合物の酸素濃度が低下するように、引き込まれた、または充填された新鮮な空気に排気ガスが加えられます。燃焼混合物の排気ガスの濃度が非常に高い場合は、燃焼は低下します。

すすの粒子、一酸化炭素 (CO) および炭化水素 (HC) の排出が増加します。

反対に、新鮮な、または充填された空気の濃度が非常に高かった場合は窒素酸化物の排出が増加します。

警告灯および表示灯

重要な安全上の注意事項

警告灯および表示灯を無視した場合は、構成部品またはシステムの故障や不具合を認識できません。走行およびブレーキ特性が変化し、交通、および車両または装備の操作安全性が制限されることがあります。影響のあるシステムを指定サービス工場で点検および修理を行ってください。警告灯および表示灯に常に注意し、対応する修正処置に従ってください (p. 31 ページ)。

概要

表示灯および警告灯の表示は、特定の車両または装備のために設計されています。車両の取扱説明書または装備の取扱説明書に記載されている情報に留意してください。以下に記載されているアイコンは例で、車両または装備に表示されるそれらのアイコンと異なることがあります。

故障または警告時は、警告灯または表示灯が自動的に点灯します。故障または警告の優先度によって、警告灯および表示灯が異なる組み合わせで点灯します。



ディスプレイチェックの間に、イグニッションをオンにした後は、表示灯が短時間点灯します。

以下の警告灯および表示灯がメーターパネルで点灯することがあります。

表示灯	記載
 赤色	エンジン停止
	エンジンシステムの不具合

表示灯	記載
 ¹	排気ガス後処理装置システムまたは AdBlue®/DEF 供給の排出ガスに関連する故障
 ¹ (常時点灯)	トルクの作動制限
 ¹ (点滅)	トルクおよびエンジン回転数の作動制限
	充電電流
 ¹ (オプション)	AdBlue®/DEF 予備レベル
 (オプション)	オイル圧力が著しく低い (エンジン)
 (常時点灯)	エンジンオイルレベルが低い
 (点滅)	エンジンオイルレベルが著しく低い
 (オプション)	冷却水レベルが著しく低い
 (オプション)	冷却水温度が著しく高い
 (オプション)	コンティニューアスブレーキの作動
 (オプション)	クルーズコントロール

¹ EU Stage IIIA 用ではない

表示灯	記載
 (オプション)	スピードリミッター
 (オプション)	パワーテイクオフの作動

操作に関する安全性

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

エンジンシステムの操作に関する安全性は、システム全体（例えば車両または作業機械）への取り付けが専門的に正しく行われているかどうかによります。また、エンジンの運転者であるお客様も安全な作動に影響をおよぼします。

規定のメンテナンス間隔に従うことが、エンジンの安全な作動のために満たすべき条件の一部です。

ただし、エンジンの安全作動は正しい使用と手入れによっても異なります。例えばこれには定期的なオイルレベルの点検も含まれます。

安全措置

エンジンの損傷は、けがにつながることもあります。エンジンの損傷を避けるために、以下の安全対策を必ず実施しなければなりません。

- バッテリーをしっかりと接続した状態でのみ、エンジンを始動させてください
- エンジンがかかっているときに、バッテリーの接続を外さないでください
- スーパーチャージャーを使用して、エンジンを始動させないでください
- 個別のバッテリーでのみ、ジャンプスタートは行なってください
- バッテリーのスーパーチャージを行なう前に、バッテリーケーブルのターミナル

を外す必要があることに留意してください

- 電気溶接作業を行なうときは、バッテリーの"+"および "-"の端子が切断されていることに注意してください。
- コントロールユニットのコネクターの接続 / 取り外しは、電気装備が停止している場合にのみできます
- コントロールユニットの電源の極性が不適切である（たとえば、バッテリーを誤って接続している）場合は、コントロールユニットに修復不可能な損傷を引き起こすことがあります
- ディーゼル噴射システムの結合部は規定の締め付けトルクで締め付けてください
- 塗装面を乾燥させるときは、エンジンコントロールユニットを損傷することがあるので、温度が 80 °c を超えないようにしてください（乾燥室など）。
- 電気コネクターを測定するときは、必ず適切な検査プローブ（メルセデス・ベンツ接続セットなど）を使用してください。外部アンテナに接続されていない電話および無線機は、電子制御部品の故障の原因となり、エンジンの操作安全性を危険にさらすことがあります

警告ステッカー

警告ステッカーをはがした場合は、特定の危険を認識し損なうことがあります。

エンジンシステムには、様々な警告ステッカーが貼り付けられています。それらの目的は、様々な危険性を喚起するためです。

電子制御システムについての注意事項

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

電子部品、ソフトウェア配線への改造は、それらの機能およびその他のネットワー

クでつながっている構成部品の機能を損なうことがあります。特に、安全にかかわるシステムに影響が生じるおそれがあります。結果として、車両の機能が適切に作動しないあるいは走行安全性が危険にさらされることがあります。けがや事故の危険が高まります。

また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。電気装備および電子機器に関するすべての作業および改造はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべて行ってください。

電子構成部品、そのソフトウェアまたはこれらの配線に改造した場合は、車両/装備の一般使用許可が無効になることがあります。

電磁環境適合性

エンジンシステム構成部品の電磁環境適合性は、現在有効なバージョン指令ECE-R 10 に応じて点検および認証されます。

診断接続

診断器接続部は、指定サービス工場ですべての診断機器を接続するために使用されます。

⚠ 警告

装置を車両の診断器接続部に接続すると、車両システムの操作に影響を与える場合があります。その結果、車両の操作安全性に影響を受けることがあります。事故の危険性があります。

車両の診断器接続部には、メルセデス・ベンツによってお客様の車両に認可された装置のみを接続してください。

エンジンを停止して、診断器接続部に接続した機器を使用している場合は、スターターバッテリーが放電することがあります。例えば、機器を診断器接続部に接続すると、排出ガスモニター情報をリセットする原因となります。結果として、法律で規定され

た次の排出物テストの要件を車両/装備が満たさない可能性があります。

スタッフの資格

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

エンジンの操作、メンテナンス、および修理にあたる要員は、訓練に加えてオペレーターによる状況説明と承認を受けた者でなければなりません。メンテナンスと修理作業の従事者について規定された法定最低年齢に従ってください。

① 国内法によっては、作業従事者にさらに対策が必要になることがあります。お客様の国内の関連法令に従ってください。

組織的対応

オペレーターは、作動、メンテナンスおよび修理の責務を決定しなければなりません。エンジンの作動、あるいは作業実施の責務を負う要員に対して取扱説明書と整備手帳を渡してください。

作業者に対するエンジン操作方法の指示は、取扱説明書を使用して行なってください。そうするときは、安全についての情報は特に強調してください。これは、エンジンについての作業を頻繁に行なわない作業者にとって特に重要です。

取扱説明書と整備手帳は、エンジンの作動場所付近の手に取りやすい場所に常に備えておいてください。

取扱説明書に加え、法的なものその他の拘束力を持つものを含め、一般的またはあ

る国特有の、事故防止と環境保全のための規制にも従ってください。

補足の取扱説明書の情報にも注意してください。これらは、装置メーカー/車両製造元により提供されています。

輸送

⚠ 警告

記載されているようにエンジンを持ち上げない場合は、その用途のために想定されたラグが外れたり、折れることがあります。これは特に、ラグの最大許容荷重を超えた場合です。そして、エンジンは制御できなくなり、重大な、または致命的なけがの原因になることがあります。常に以下のことを確認してください。

- エンジンが想定されたリフティングポイント/リフティングラグでのみ持ち上げられていること
- エンジンが固定位置でのみ持ち上げられて運搬されていること
- ロープ/チェーンが常に垂直に通っていること
- 最初の納品時の一般的な部品のみがエンジンに装着されていること

⚠ 警告

不適切な位置、および/または吊り上げ装置を使用してエンジンを持ち上げる場合は、以下になることがあります：

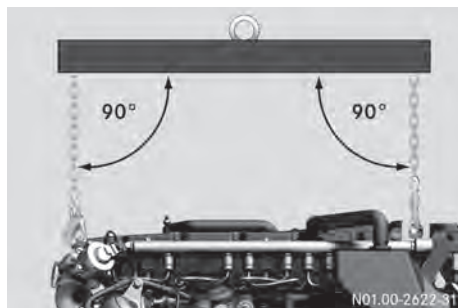
- 緩んで落下する
- 重心が変化した結果として制御できずに動く

けがの危険性があります。

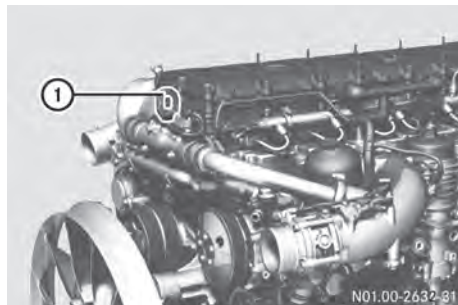
適切な吊り上げ装置を使用し、意図された持ち上げ位置でのみ、エンジンを持ち上げてください。エンジンを上げ下ろしするときは、危険な範囲に誰もいないことを確認してください。

! エンジンは通常、オイルを充填した状態で出荷されます。エンジンを傾けた状態または横倒しの状態で輸送すると、オイルが漏れることがあります。エンジンは、必ず取付け状態で輸送してください。

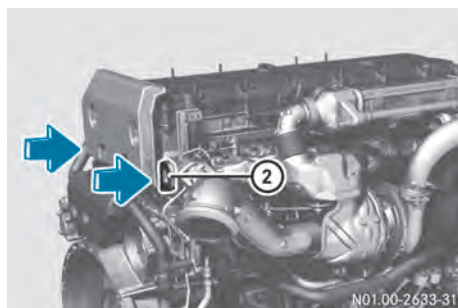
! エンジンまたは排気ガス後処理装置ユニット（EU Stage IIIA 用ではない）を踏みつけないようにしてください。さもないと、損傷するおそれがあります。



例：クロスメンバーを使用して水平にしたエンジンに対してチェーン/ロープが 90° になるように、クロスメンバーのみを使用してエンジンを持ち上げてください。



① 例：ベルト側リフティングポイント



② 例：フライホイール側リフティングポイント

取り付け

エンジンシステムは、契約で規定されたようにのみ取り付けなければなりません。

"正しい使用法" (▷ 7 ページ) および"エンジン出力の変更" (▷ 6 ページ) に従ってください。

Daimler AG では、最初の取り付けのための取り付けガイドラインのような包括的な資料を車両製造元に提供します。車両製造元はこれを考慮しなければなりません。修理作業後にエンジンを装着するなどの場合は、ワークショップ情報システム (WIS) の情報を考慮に入れる必要があります (▷ 8 ページ)。

"指定サービス工場" (▷ 8 ページ) および "その他の適用書類" (▷ 8 ページ) の項目に注意してください。

ご質問がある場合は、MTU または MTU 認定メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

作動の準備

工場で初期運転用オイルが充填されたエンジン

エンジンには初期運転用オイルが工場では充填されています。

これらの高品質エンジンオイルは、慣らし運転中に最適なオイルです。これらのエンジンオイルは、適用されるオイル交換間隔に応じた次のオイル交換時期まで使用することもできます。これにより、特別な慣らし運転用オイルと追加のオイル交換が不要となります。

エンジンオイルレベルの点検

エンジンにはオイルレベル電子検知システムが装備されています。

エンジンにレベルゲージも装備されている場合は、これはオイルレベル電子測定システムの補助です。

オイルレベル電子測定 - システムの説明

エンジンオイルレベルセンサーはオイルレベル測定用オイルパンに取り付けられています。電気信号はエンジン制御コントロールモジュール (MCM) で検知され、ドライブコントロールシステムコントロールユニット (CPC) に送信されます。

エンジンがかかっていなくてイグニッションがオンのときに、出力を表示灯またはマトリックスディスプレイに表示できます。エンジンがかかっている間は、エンジンオイルレベルは表示されません。

オイルレベルの電子的な点検

! オイルを追加しすぎないでください。多くのオイルを追加した場合は、エンジンまたは排気ガス後処理システムが損傷するおそれがあります。余分なオイルは、排出するか吸い上げてください。



毎日走行前または燃料補給のたびなど、定期的にエンジンオイルレベルを点検してください。

車両/装備メーカーにより提供されている取扱説明書の情報にも従ってください。

- ▶ 車両/装置を水平な場所に駐車してください。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ エンジンを停止してください
- ▶ エンジンスイッチをドライブの位置に切り替えます。
- ▶ エンジンを停止した後、5 分間以上待ちます。


i 現在のオイルレベル情報は、車両を停止して、エンジン停止後 5 分以上経過した場合のみ呼び出すことができます。それからイグニッションをオンにして、故障表示灯の点灯を待ちます。


! オイルレベルを測定するには、車両または機器が水平面になければなりません。車両が坂道にあるときにオイルレベルを測定すると、誤った測定値が表示されます。

オイルレベルが低い場合は、 オイルレベルが低いという表示灯が点灯します。オイルレベルが著しく低くてエンジンを始動してはいけない場合は、 オイルレベルが著しく低いという表示灯が点滅します。▶ 必要な場合は、補給口 ① を使用してオイルを補充してください。

エンジン用に承認されていて、指定された SAE 分類に一致するエンジンオイルのみを使用してください (▶ 48 ページ)。

表示灯によるオイルレベルメッセージ

オイルレベルが低い場合は、 表示灯が点灯します。オイルレベルが低い状態です。オイルを補充してください。補充する量を測定するには、レベルゲージを使用します。

① 不足量をただちに補充してください。エンジンオイルレベルが著しく低い場合は、 表示灯が点滅して、警告音が鳴ります。オイルレベルが著しく低い場合は、エンジンを始動せず、ただちにオイルを補充してください。補充する量を測定するには、レベルゲージを使用します。

! ただちにオイルレベルを修正する必要があります。エンジンが故障するおそれがあります。

マトリックスディスプレイによるオイルレベルメッセージ

オイルレベルメッセージの表示は、車両または装備メーカーによって決められています。車両/装備メーカーにより提供されている取扱説明書の情報に従ってください。

エンジンオイルレベルが低い場合は、ディスプレイに表示された不足している量のオイルを補充してください。

エンジンオイルレベルが著しく低い場合は、エンジンを始動せず、ディスプレイに表示された不足している量のオイルを補充してください。

! ただちにオイルレベルを修正する必要があります。エンジンが故障するおそれがあります。

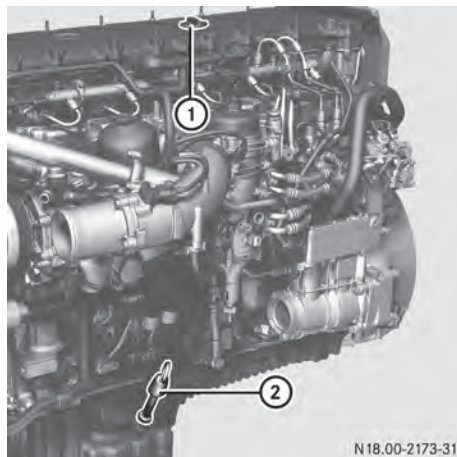
レベルゲージのオイルレベルの点検

! オイルを追加しすぎないでください。多くのオイルを追加した場合は、エンジンまたは排気ガス後処理システムが損傷するおそれがあります。余分なオイルは、排出するか吸い上げてください。

各走行前または燃料補給のたびなど、定期的にエンジンオイルレベルを点検してください。

- ▶ 車両/装置を水平な場所に駐車してください。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 約 5 分間待ちます。



N18.00-2173-31

- ▶ レベルゲージ **②** でエンジンオイルレベルを点検します。オイルレベルは、レベルゲージ **②** の上と下のマークの間になければなりません。
- ▶ 必要な場合は、補給口 **①** を使用してオイルを補充してください。

エンジン用に承認されていて、指定された SAE 分類に一致するエンジンオイルのみを使用してください (▶ 48 ページ)。

冷却水レベルの点検

- ▶ 車両の取扱説明書または装備の取扱説明書に記載されているように冷却水レベルを点検します。
- ▶ 必要な場合は、冷却システムに補充します。エンジンに認証された冷却水のみを使用してください (▶ 49 ページ)。

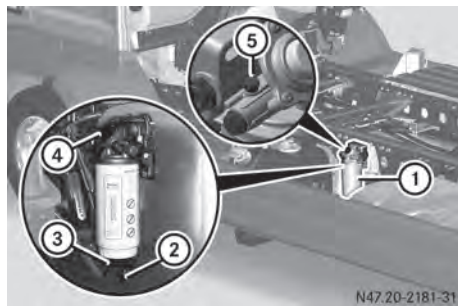
燃料レベルを点検する

燃料計で燃料レベルを点検するためには、車両の取扱説明書をご覧ください。必要な場合は給油します (▶ 50 ページ)。

シャーシフレームの燃料プレフィルターの水量を点検する

☞ 環境上の注意事項：

水と燃料の混合物を処分するときは、環境に配慮してください。



例：シャーシフレームの燃料プレフィルター

	機能	ページ
1	燃料プレフィルター	
2	ドレンプラグ	
3	点検窓	
4	手動給油ポンプ	
5	ブリーダー	

点検窓 ③ に水が集められている場合は、シャーシフレームの燃料プレフィルター ① の排水をします。

必要なときは、シャーシフレームの燃料プレフィルター ① の排水をします。霜の危険性がある場合は、定期的に行います。シャーシフレームの燃料プレフィルターの排水をする

- ドレンプラグ ② の下に容器を置きます
- ドレンプラグ ② をまわして開きます
- 手動給油ポンプ ④ を押して、燃料/水の混合物を集めます
- ドレンプラグ ② をまわして閉じます

AdBlue®/DEF レベル (EU Stage III3A 用ではない) の点検

AdBlue®/DEF 計で AdBlue®/DEF レベルを点検するためには、車両の取扱説明書

をご覧ください。必要な場合は給油します
(▷ 43 ページ)。

エンジンの始動および停止

エンジンを始動する

⚠ 警告

エンジンの燃焼は、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。従って、十分な換気がない閉じた空間でエンジンを作動させたままにしないでください。

! エンジンオイル圧が非常に低い場合は、メーターパネルの警告灯が点灯します。警告音も鳴ります。

エンジンの操作安全性が損なわれています。ただちにエンジンを停止してください。

! エンジンが始動してすぐに発進しないでください。十分なエンジンオイル圧になるまで、始動後は少しの間エンジンをニュートラルのままに始動させてください。エンジンが冷えているときに、高いエンジン回転数で走行しないでください。

これにより、過度な摩耗や可能性のあるエンジン故障を防ぎます。

適度なエンジン回転数で走行することによりエンジンを素早く暖機します。外気温度によって、エンジンは約 10～20 分後に作動温度に達します (▷ 75 ページ)。

エンジンが正常な作動温度に達すると、エンジンの最高出力を使用することができます。

表示灯および警告灯の表示は、特定の車両または装備のために設計されています。補足の取扱説明書の情報にも従ってください。これらの補足取扱説明書は、車両製造元/装置メーカーにより提供されています。

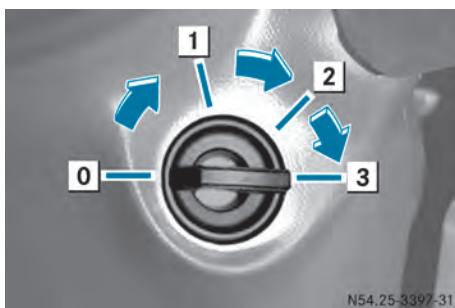
▶ エンジンスイッチのキー、またはエンジンの外部エンジンスタート/エンジンス

トップスイッチを使用してエンジンを始動します。この操作を行っている間は、アクセルペダルまたはクラッチペダルを踏まないでください。

さらなる安全性のため、エンジン電子制御システムにはトランスミッションがニュートラルのときのみエンジンを始動できる機能が装備されています (車両の仕様/装備の仕様による)。

キーでエンジンを始動する

! 始動後、油圧が表示されるまで、エンジンをアイドリング状態にします。油圧が表示されない場合は、約 5 秒後にエンジンを停止してください。原因を探します。エンジンの操作安全性が危険な状態にあります。



例：エンジンスイッチ


- 0 車両キーの挿入/抜き取り
- 1 ステアリングのロック解除/ラジオポジション
- 2 走行ポジション (イグニッション)
- 3 スタートポジション

- ▶ 車両/装備が動き出さないように固定します。
- ▶ パワーテイクオフを解除します。
- ▶ ギアをニュートラルに入れます。
- ▶ **エンジンを始動する**：エンジンスイッチのキーを走行位置 2 にまわしてください。
- ▶ エンジンスイッチのキーをスタートポジション 3 にまわしてください。この操作

中は、アクセルペダルを踏まないでください。

- ▶ エンジンが始動したら、キーから手を放してください。
アイドリング回転数は自動的に制御されます。

i 非常に低い外気温度では、エンジンのアイドリング回転数が上昇します。

- ▶ エンジンがただちに始動しない場合：30秒以内に始動プロセスを中断します。
- ▶ エンジンスイッチのキーをストップポジション  にまわして戻してください。
- ▶ 約 1 分の待機時間後に始動プロセスを繰り返します。
- ▶ 始動を 3 回試みたら、約 3 分間待ってから再開してください。
- ▶ エンジンが始動できなかった場合：始動特性悪化の原因を修理してください (▶ 63 ページ)。
- ▶ エンジンが始動したら、ただちに油圧ゲージを確認してください。

外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチでエンジンを始動する

- ▶ 外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチで始動する： (▶ 58 ページ)。

エンジンを停止してください

警告

機材のスイッチを OFF にする、あるいは車両を駐車する場合、排気システムが、枯葉、草、およびその他引火性の高い可燃物などに接触しないように注意してください。

警告

車両が動いている間にイグニッションをオフにした場合は、安全に関する機能が制限されるか、作動しなくなります。これにより、例えばパワーステアリングの


機能およびブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。そして、ステアリング操作およびブレーキ操作に非常に大きな力が必要となります。事故の危険性があります。

車両が動いている間にイグニッションをオフにしないでください。

! 以下の場合には道路や交通状況に注意を払いながら、ただちにエンジンを停止してください。

- オイル圧が低下した、または著しく変動している
- 出力またはエンジン回転数が低下し、ポジションセンサー（アクセル）の位置がそのままである
- マフラーから濃い煙が排出された
- 冷却水またはエンジンオイル温度が急速に上がった
- エンジンまたは排気ガスターボチャージャーから突然異音が聞こえた
- ▶ 車両/装備を駐車してください。
- ▶ 車両/装備が動き出さないように固定します。
- ▶ トランスミッションをニュートラルに入れ、駆動システムから切り離してください。

以下の場合には、エンジンを停止する前に、エンジンを約 2 分間アイドリングさせてください。

- 冷却水温度が著しく高い (100 °C)
- エンジンを最高出力で作動させた
- ▶ **エンジンを停止する**：エンジンスイッチの車両キーを  の位置で停止するまでまわして戻します。

i エンジン (EU Stage IIIA 用ではない) が停止したときに、システムが少しの間作動し続けることがあります。取り付け位置、操作状況および周囲の温度によっては、冷却を確実にを行うために AdBlue®/DEF の循環が必要です。このため、この時間中は

AdBlue®/DEF のデリバリーポンプが作動します。

外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチでエンジンを停止する

- ▶ 外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチでエンジンを停止する：
(▶ 58 ページ)。

コンティニューアスブレーキの設定と解除の切り替え

⚠ 警告

エンジンのブレーキ効果を上げるために滑りやすい路面でコンティニューアスブレーキを作動させる、または低いギアにシフトした場合は、駆動輪がトラクションを失うことがあります。横滑りや事故の危険性が高くなります。

滑りやすい路面では、エンジンのブレーキ効果を上げるためにコンティニューアスブレーキを作動させたり、低いギアにシフトしないでください。


エンジンブレーキおよびリターダーはコンティニューアスブレーキとして使用されます。特に長い下りの勾配で以下をする場合は、エンジンのブレーキ効果を使用できます。


- コンティニューアスブレーキを効かせる
- 適切なタイミングで低速ギアに切り替える


下り坂を走行するときエンジンのブレーキ効果が不十分な場合は、ブレーキペダルをゆっくりと踏みます。

リターダー非装備車両には、2 段階のブレーキのみが装備されています。

コンティニューアスブレーキの操作（車両の取扱説明書/装備の取扱説明書をご覧ください）。

コンティニューアスブレーキが作動しているときは、メーターパネルの  表示灯が点灯します。

ABS（アンチロックブレーキングシステム）が介入したときは、コンティニューアスブレーキが停止します。メーターパネルの  表示灯は点灯したままになります。

❗ コンティニューアスブレーキを解除して、メーターパネルの  表示灯が消灯しない場合は、コンティニューアスブレーキをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

エンジンブレーキ

エンジンのブレーキ効果は、エンジン回転数により異なります。高いエンジン回転数は、より効果的なエンジンブレーキにつながります。

タコメーターにマークされている有効なエンジンブレーキ域に留意してください（▶ 30 ページ）。

最高許容エンジン回転数は、車両/装備の適用によって制限されることがあります。

車両の取扱説明書または装備の取扱説明書に記載されている情報に留意してください。著しく低い外気温度では、エンジンが始動した後にエンジンブレーキが制限されるか、または効果がなくなります。

エンジンブレーキの操作（車両の取扱説明書または装備の取扱説明書をご覧ください）。

リターダー

リターダーの操作は、車両の取扱説明書または装備の取扱説明書をご覧ください。

アイドルリング回転数

エンジンが始動した後は、アイドルリング回転数は自動的に制御されます。エンジンのアイドルリング回転数は、エンジンまたはパ

ワータイクオフ装備車両により、特定の作動条件では異なることがあります。

約 500~800 rpm の間でアイドリング回転数を設定できます。

非常に低い外気温度では、エンジンのアイドリング回転数が上昇します。

エンジン電子制御システム経由で、回転数を作動回転数に設定できます。これにより、ポンプのような補助装置を作動速度で作動させることができます。作動回転数の設定は、車両の取扱説明書をご覧ください。

クライメートコントロール

クライメートコントロールシステム

! 少なくとも月に 1 度は、約 10 分間エアコンディショナーを作動させてください。さもないと、冷媒のコンプレッサーが損傷することがあります。

🕒 環境上の注意事項


必要な場合にのみ、エアコンディショナーシステムを作動させてください。エアコンディショナーシステムが作動しているときは、燃料消費が増えます。

クライメートコントロールシステムは、エンジンがかかっているときにのみ操作できます。クライメートコントロールシステムの操作（車両の取扱説明書をご覧ください）。

操作モニター

充電電流

エンジンが始動した後は、充電電流表示灯が消灯しなければなりません。

エンジンがかかっているときに  表示灯が消灯しない、または点灯している場合は、エンジンを停止してください。不具合の原因を探し、解決してください (▷ 63 ページ)。

エンジン電子制御

エンジンが始動した後は、表示灯および警告灯が消灯しなければなりません。

表示灯または警告灯が消灯しない、またはエンジンがかかっている間に点灯した場合は、エンジン電子制御システムに不具合があります。


不具合の原因を探し、解決してください (▷ 63 ページ)。

それぞれの不具合は、故障コードとともにシステム内に保存されます。一時的な不具合も保存されます。

故障コードは、指定サービス工場で診断テスターを使用して読み取ることができます (▷ 7 ページ)。

故障コードは、指定サービス工場で診断テスターを使用して読み取ることができます (▷ 6 ページ)。

油圧

エンジンがかかっているときに  表示灯が消灯しない場合、または点灯している場合は、エンジンを停止してください。不具合の原因を探し、解決してください (▷ 63 ページ)。

作動制限 (EU Stage IIIA 用ではない)

エンジン電子制御システムは以下のモニターを行います。

- 排気ガス後処理装置の排出ガス関連の不具合
- 排気ガス後処理装置の電子モニターの不具合
- AdBlue®/DEF 抑制剤の消費、レベルおよび品質
- NOx (窒素酸化物) 排出ガス許容基準に応じた触媒コンバーターの効率

トルク低下という形での作動制限、出力および速度制限が起ることがあります。

作動制限無効化用エマージェンシースイッチ (EU Stage IIIA 用ではない)

排気ガス後処理装置システムまたは AdBlue®/DEF 供給に排出ガス関連の不具合が検知されると、作動が制限されることがあります (エンジントルクおよびエンジン回転数の制限)。

緊急時にはスイッチを押して、作動制限を無効化することができます。これは最長 30 分間、最大エンジン出力が使用可能であることを意味しています。スイッチを操作することによる緊急機能は、最高 3 回設定することができます。

最終的な作動制限 (アイドリング速度およびトルクの 20%) に達したときは、スイッチは無効になります。

ディスプレイ

タコメーター

! 最高許容エンジン回転数を超えた場合は、警告音が鳴ります。

エンジンの音ではなく、タコメーターに表示されるエンジン回転数に応じて走行およびギアチェンジを行なってください。

赤色の過回転域での走行は避けてください。エンジンの損傷につながるおそれがあります。


エンジン回転数表示は車両製造元/装置メーカーの責任であり、必ずしもメルセデス・ベンツにより提供されているわけではありません。Daimler AG では、車両製造元/装置メーカーは以下により分割されるタコメーターを使用することを推奨します。

- 作動効率
- エンジンブレーキの範囲
- エンジンの過回転域

タコメーターの全体的な注意事項

- 走行中はタコメーターを注視し、経済的な作動域内を保ってください
上りの勾配で、または追い越し時などのいくつかの状況では、経済的なエンジン回転数域外でエンジンをかけることが必要となることがあります。
- 経済的なエンジン回転数域内でエンジンをかける場合は、低い燃料消費および摩擦の低減が可能になります
- エンジンブレーキモードでは、中程度のエンジン回転数域で走行させます。最大のエンジンブレーキ効果は、赤色の過回転域直前で達成されます
- 下りの勾配を走行しているときは、エンジン回転数が過回転域 (赤色にマークされている) に入っていないことを確認します
- アイドリング回転数は、冷却水温度によって自動的に設定されます
- 車両を停止していて、エンジンがかかっている、およびトランスミッションがニュートラルにあるときは、エンジンはスロットルを緩やかにのみ開きます

AdBlue®/DEF レベル (EU Stage IIIA 用ではない)

AdBlue®/DEF 表示は車両製造元/装置メーカーの責任であり、必ずしもメルセデス・ベンツにより提供されているわけではありません。車両製造元/装置メーカーが AdBlue®/DEF ゲージおよび AdBlue®/DEF 予備レベル用 AdBlue®/DEF 表示灯  を使用することを、Daimler AG は推奨します。

AdBlue®/DEF 除去剤は、エンジン排出ガス低減のために必要なものです。

AdBlue®/DEF がない状態で車両を作動させている場合は、MOT の承認/使用許可は無効になります。この法的結論は、車両が

一般道で作動させられなくなる可能性がありますということですが。

AdBlue®/DEF レベルが約 10%に下がった場合は、メーターパネルの AdBlue®/DEF 予備レベル用警告灯が点灯します。適時、AdBlue®/DEF タンクに補充してください (p. 43 ページ)。

表示を無視し、AdBlue®/DEF レベルがさらに下がった場合は、エンジントルクおよ

びエンジン回転数が低下することがあります (p. 29 ページ)。

エンジントルクが、エンジン回転数域全体で最大 20%までエンジントルクが制限されることがあります。アイドリング回転数までエンジン回転数が制限されることがあります。



警告灯および表示灯





警告灯および表示灯 - 原因/結果および解決法






表示灯および警告灯の表示形式は車両の仕様/装備の仕様によります。装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。以下に記載されているアイコンは例で、車両/装備に表示されるアイコンと異なることがあります。故障または警告の優先度によって、警告灯および表示灯が異なる組み合わせで点灯します。



警告灯および表示灯を無視した場合は、構成部品またはシステムの故障や不具合を認識できません。影響のあるシステムを指定サービス工場にて点検および修理を行ってください。

警告灯および表示灯

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 表示灯が赤色に点灯した。	<p>エンジンシステムの重大な故障が検知された。</p> <p>▶ 交通状況に注意を払いながらただちに車両/装備を停止し、指定サービス工場にご連絡ください。</p>
 表示灯が点灯した。	<p>許可されていない作動状況がエンジンシステムで検知された。以下のシステムの 1 つに不具合がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> • エンジン • エンジン冷却 • エンジン制御 • 軽油噴射システム <p>▶ さらに表示灯が点灯した場合は、原因を診断するときに表示灯の組み合わせ (下記参照) を考慮します。</p> <p>▶ 指定サービス工場にてシステムを点検してください。</p>





トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 表示灯が点灯した。	<p>電力供給で不具合が検知された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不具合がない場合は、エンジンが始動した後に表示灯が消灯します。 ▶ 表示灯が消灯しない場合、またはエンジンがかかっているときに点灯する場合は、故障の原因を指定サービス工場にて修理してください。
 表示灯が点灯した。	<p>エンジン潤滑油の供給で不具合が検知された。エンジンの操作安全性が危険な状態にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路交通状況に注意しながら、ただちに車両を停止します。 ▶ エンジンを停止します。 ▶ パーキングブレーキを効かせてください。 ▶ エンジンオイルレベルを点検します (▶ 23 ページ)。 ▶ 指定サービス工場にご相談ください。
 表示灯が点灯した。	<p>冷却回路で不具合が検知された。冷却水レベルが著しく低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不具合がない場合は、エンジンが始動した後に表示灯が消灯します。 ▶ エンジンがかかっているときに表示灯が消灯しない、または点灯した場合は、エンジンを停止してください。 ▶ 冷却水レベルを点検します (▶ 24 ページ)。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。
 表示灯が点灯した。	<p>冷却回路で不具合が検知された。冷却水温度が高すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不具合がない場合は、エンジンが始動した後に表示灯が消灯します。 ▶ エンジンがかかっているときに表示灯が消灯しない、または点灯した場合は、エンジンを停止してください。 ▶ 冷却水レベルを点検します。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン性能およびトルクが制限されることがあります。</p>










トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 表示灯が点灯した。	表示灯がエンジンオイルレベルの状態を示している。エンジンオイルレベルが低い。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子式オイルレベル測定が完了し、"低いオイルレベル"が検知されると、表示灯が点灯します。 ▶ エンジンオイルレベルを修正します (▶ 23 ページ)。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。
 表示灯が点滅した。	表示灯がエンジンオイルレベルの状態を示している。エンジンオイルレベルが著しく低い。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子式オイルレベル測定が完了し、"著しく低いオイルレベル"が検知されると、表示灯が点灯します。 ▶ エンジンを始動しないでください。 ▶ エンジンオイルレベルを修正します (▶ 23 ページ)。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。
 表示灯が点灯した。	表示灯は、コンティニューアスブレーキの状態を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示灯は、コンティニューアスブレーキの作動後に点灯します。 ▶ 装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。 ▶ 解除後に表示灯が消灯しない場合、または常時点灯している場合は、不具合があります。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場へ不具合の修理を依頼してください。
 表示灯が点灯した。	表示灯は、クルーズコントロールの機能の状態を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示灯は、クルーズコントロールの作動後に点灯します。 ▶ 装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。
 表示灯が点灯した。	表示灯は、可変スピードリミッターの状態を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ スピードリミッターによる速度制限が作動した後に、表示灯は点灯します。 ▶ 設定されている制限速度は、車両/装備のディスプレイに表示されます。 ▶ 装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。





トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 表示灯が点滅した。	<p>表示灯は、スピードリミッターにより設定された速度を超えたことを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スピードリミッターにより設定された最高速度（速度制限）から、3 km/h 以上超えています。必要な場合は、アダプティブブレーキを効かせることにより速度を下げます。 ▶ スピードリミッターにより設定された速度制限は、キックダウンにより一時的に解除され、超えることがあります。ニュートラルポジションに短時間切り替えることにより、設定した速度制限が再作動します。 ▶ 装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。
 表示灯が点灯した。	<p>表示灯は、パワーテイクオフの状況を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ パワーテイクオフを作動させた後に、表示灯は点灯します。 ▶ 不具合がない場合、表示灯はパワーテイクオフが停止した後に消灯します。 ▶ 装備/車両の取扱説明書に含まれている情報に従ってください。







AdBlue®/DEF 予備レベル用警告灯（EU Stage IIIA 用ではない）装備の車両/装置のみ

不具合が検知され、記載されている表示灯が点灯する場合は、警告音が約 5 秒間鳴ります。緊急時は、作動規制（エンジントルクおよびエンジン回転数の制限）をエマージェンシースイッチで一時的に無効にすることができます（▶ 30 ページ）。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 表示灯が点灯した。	<p>AdBlue®/DEF が予備レベルに達した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ AdBlue®/DEF タンクに補充してください。
表示灯  および  が点灯して、  が点滅した。	<p>AdBlue®/DEF レベルが約 7.5%まで低下した。エンジン出力の低下が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 75%までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue®/DEF タンクに補充してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン回転数の制限が課せられます。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
表示灯  が点灯し、  および LIMIT が点滅している。	<p>AdBlue®/DEF レベルが約 5%まで低下した。エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 50%までに制限されます。エンジン回転数が、最大 60%までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue®/DEF タンクに補充してください。 指示に従わない場合は、エンジントルクおよびエンジン回転数がさらに低下することがあります。
表示灯  および  が点灯し、  および LIMIT が点滅している。	<p>AdBlue®/DEF レベルが約 2.5%まで低下した。エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue®/DEF タンクに補充してください。
 、  、  および LIMIT 表示灯が点滅している。	<p>AdBlue®/DEF レベルが約 0%まで低下した。エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路および交通状況に注意しながら車両/装備を停止してください。 ▶ ただちに AdBlue®/DEF タンクに補充してください。
 表示灯が点灯した。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで排出ガスに関連した故障が検知された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 排気ガス後処理装置を指定サービス工場で点検してください。ただちに不具合を修理してください。そうしない場合は、エンジン出力が低下し、エンジン回転数が制限されることがあります。 <p>不具合がない場合は、さらなるテストルーチンの後にのみ表示灯が消灯します。システムチェックは、不具合なしで数回のエンジン始動、時間または走行を必要とすることがあります。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
表示灯  が点灯し、  が点滅した。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 75%までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ 最寄りの指定サービス工場まで慎重に走行し、ただちに不具合を修理してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン回転数の制限が課せられます。</p>
表示灯  および  が点滅している。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 50%までに制限されます。エンジン回転数が、最高 60%までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ 最寄りの指定サービス工場まで慎重に走行し、ただちに不具合を修理してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン回転数の制限が課せられます。</p>




トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
表示灯  および  が点滅し、  が点灯した。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジン出力が、エンジン回転数域全体の最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場へ不具合の修理を依頼してください。
表示灯  ,  および  が点滅している。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下が設定された。エンジン出力が、エンジン回転数域全体の最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路および交通状況に注意しながら車両/装備を停止してください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場へ不具合の修理を依頼してください。







AdBlue®/DEF タンクに補充したか、あるいは故障が修理されたときは、再度最大エンジン出力が使用できるようになります。システムチェックが他の故障を検知しなかった場合は、システムステータスインジケータの後に表示灯が消灯します。システムチェックは、不具合なしで数回のエンジン始動、数時間または数回の走行を必要とすることがあります。

システムチェックが他の故障を検知しなかった場合は、システムステータスインジケータの後に表示灯が消灯します。

AdBlue®/DEF 予備レベル用警告灯 (EU Stage IIIA 用ではない) 非装備の車両/装置のみ

不具合が検知され、記載されている表示灯が点灯する場合は、警告音が約 5 秒間鳴ります。緊急時は、作動規制 (エンジン出力およびエンジン回転数の制限) をエマージェンシースイッチで一時的に無効にすることができます (▶ 30 ページ)。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>表示灯  が点灯した。</p>	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue[®]/DEF 供給システムで排出ガスに関連した故障が検知された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ただちに AdBlue[®]/DEF タンクに補充してください。 ▶ 解決しない場合：排気ガス後処理装置を指定サービス工場で点検してください。ただちに不具合を修理してください。そうしない場合は、エンジン出力が低下し、エンジン回転数が制限されることがあります。 <p>不具合がない場合は、さらなるテストルーチンの後にのみ表示灯が消灯します。システムチェックは、不具合なしで数回のエンジン始動、時間または走行を必要とすることがあります。</p>
<p>表示灯  が点滅し、LIMIT が点灯した。</p>	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue[®]/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 75%までに制限されます。制限は、次にエンジンを始動するときに行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue[®]/DEF タンクに補充してください。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン回転数の制限が課せられます。</p>
<p>表示灯  および LIMIT が点滅している。</p>	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue[®]/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体の最大 50%までに制限されます。エンジン回転数が、最高 60%までに制限されます。ランプ関数により、制限が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue[®]/DEF タンクに補充してください。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。 <p>指示に従わない場合は、エンジン回転数の制限が課せられます。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
表示灯  および  が点滅し、  が点灯している。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体で最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転/操作スタイルを合わせてください。 ▶ ただちに AdBlue®/DEF タンクに補充してください。 ▶ 解決しない場合は、指定サービス工場に不具合の修理を依頼してください。
表示灯  、  および  が点滅している。	<p>排気ガス後処理装置または AdBlue®/DEF 供給システムで検知された排出ガス関連の故障を修理していない。</p> <p>エンジン出力の低下およびエンジントルクの制限が設定された。エンジントルクが、エンジン回転数域全体で最大 20%までに制限されます。エンジン回転数が、アイドリング回転数までに制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路および交通状況に注意しながら車両/装備を停止してください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場へ不具合の修理を依頼してください。

AdBlue®/DEF タンクに補充したか、あるいは故障が修理されたときは、再度最大エンジン出力が使用できるようになります。システムチェックが他の故障を検知しなかった場合は、システムステータスインジケータの後に表示灯が消灯します。システムチェックは、不具合なしで数回のエンジン始動、数時間または数回の走行を必要とすることがあります。

システムチェックが他の故障を検知しなかった場合は、システムステータスインジケータの後に表示灯が消灯します。

取扱説明書

慣らし運転

車両製造元/装備メーカーの慣らし運転の注意事項に従ってください。エンジンの慣らし運転の期間は特に以下に関して、車両/装備に著しい影響を与えます。

- 耐用年数
- 操作の安全性
- 燃費

2,000 km (30 時間作動) までの慣らし走行期間は、下記の注意事項に従ってください。

- エンジンを最大出力にしない。
- 様々な速度およびエンジン回転数を使用して、注意してエンジンを慣らし運転する。
- 高いエンジン回転数を避ける。
- 各ギアの最高走行速度の%以上の速度で走行しない。
- 適切なタイミングでギアチェンジを行なう。
- 車両にブレーキを効かせるためにシフトダウンをしない。
- オートマチックトランスミッション装備車両では、踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏み込まない(キックダウン)。

2,000 km (30 時間作動) 後は、徐々に車両/装備を最大出力にし、エンジン回転数を上げてください。

燃料消費

全体的な注意事項

燃料消費は以下に応じて変化します。

- 機械のバージョン/車両のバージョン
- 作動条件
- 装着機器 (油圧ポンプ、草刈機など)
- メンテナンス

- 走行抵抗
- ご自分の運転スタイル

上記の理由により、個々のエンジンの燃料消費についての正確な詳細を述べることはできません。

機械のバージョン/車両のバージョン

以下の構成部品は、燃料消費に影響します。

- タイヤ (タイヤ空気圧、タイヤの状態)
- ボディタイプ
- 駆動系部品 (トランスミッション減速比など)
- 追加装備 (オートマチッククライメートコントロール、補助ヒーターなど)

メンテナンス

燃料消費および部品の摩耗は、どのくらいの頻度でメンテナンスを実行するかにより異なります。定期的なメンテナンスは、安全性を増やして向上させ、燃料消費を少なくします。点検整備時期を守ってください。メンテナンス作業は常に指定サービス工場で行ってください。

燃料の種類

燃料のグレードは燃料消費にも影響を与えます。低いグレードの燃料および/または承認されていない燃料添加剤を使用すると、燃料消費が多くなります。補給するときは、適切なグレードの燃料を補給していることを確認してください (▷ 50 ページ)。

AdBlue®/DEF 消費 (EU Stage IIIA 用ではない)


AdBlue®の消費量は、エンジンに使用によって、燃料消費の最大 4%を占めます。

エンジンオイルの消費

エンジンの慣らし運転の後、オイル消費量が車両の実際の燃料消費量の0.2%に達する場合があります。

さらに過酷な条件で使用される車両および過走行車両ではこのオイル消費量を上回る場合があります。

警告音

警告音が鳴り、メーターパネルの  アイコンが表示された場合は、エンジンの操作安全性が危険にさらされています。

車両を発進させないか、道路および交通状況に注意を払いながらすみやかに停止させてください。さもないとエンジンを損傷するおそれがあります。

車両によっては、以下の場合に警告音が鳴ります。

- 最高エンジン回転数を超えている
- ギア変速時にエンジン回転数または車両速度が著しく高い。
- 冷却水レベルが著しく低いか、冷却水の最高許容温度 (> 75 ページ) を超えている。この状態ではエンジンの操作安全性が危険にさらされています。
- 排出ガス関係の故障が検知された (EU Stage IIIA による排出ガス認定エンジン用ではない)、または排出ガス関係の故障による作動制限がある。

充填

燃料

重要な安全上の注意事項

警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気

体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

! 硫黄含有率の高い燃料は、エンジンオイルの経年変化を高め、エンジンおよび排気システムを損傷するおそれがあります。

警告

燃料には高い可燃性があります。燃料の不適切な取り扱いは、火災および爆発の危険性につながります。

火、裸火、火花の発生および喫煙を避けてください。燃料システムの作業を行なう前に、イグニッションおよび補助ヒーターをオフにしてください。保護手袋を常に着用してください。

警告

ディーゼル燃料をガソリンと混ぜると、引火点は純粋なディーゼル燃料のものよりも低くなります。エンジンがかかっているときは、排気システムの部品が気付かないうちにオーバーヒートすることがあります。火災の危険性があります。

ガソリンを給油しないで下さい。ガソリンをディーゼル燃料と混ぜないでください。

! 排気ガス後処理装置付エンジンシステム:

必ず以下の基準に適合した市販のサルファーフリー軽油を使用して給油してください。

- EN 590 2010年現在、以下参照（最大0.001重量%の硫黄）（10 ppm）または
- ASTM D975（最大0.0015重量%の硫黄）（15 ppm）

以下の燃料種類は許可されていません。

- 硫黄含有量0.005重量%以上の硫黄燃料（50 ppm）
- 船舶機用軽油
- 航空タービン燃料
- 暖房用軽油
- 脂肪酸メチルエステル FAME（バイオディーゼル軽油）

これらの種類の燃料は、エンジンおよび排気ガス後処理装置に回復不可能な損傷を与え、予想寿命も著しく短縮させます。

❗ 排気ガス後処理装置システム非装備エンジン（EU Stage IIIA）：

最大0.05%重量%の硫黄（500 ppm）の標準燃料のみが許可されます。しかし、メルセデス・ベンツは2010年以降の欧州規格EN 590（最大0.001重量%の硫黄）（10 ppm）またはASTM D975（最大0.0015重量%の硫黄）（15 ppm）に適合する燃料を使用することを推奨します。

以下の燃料種類は許可されていません。

- 硫黄含有量0.05%重量%以上の硫黄燃料（500 ppm）
- 船舶機用軽油
- 航空タービン燃料
- 暖房用軽油
- 脂肪酸メチルエステル FAME（バイオディーゼル軽油）

これらの種類の燃料は、エンジンに回復不可能な損傷を与え、予想寿命も著しく短縮させます。

❗ ディーゼルエンジン車に、ガソリンを使用しないでください。少量のガソリンでも、燃料システムとエンジンに損傷を与える原因になります。

❗ 誤って指定以外の燃料を給油してしまった場合は、決してエンジンを始動しないでください。誤った燃料が燃料系部品全体にまわるおそれがあります。誤って指定以外の燃料を給油した場合は、燃料タンクや燃料装置から燃料を完全に抜き取る必要があるため、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。

❗ いかなる特殊燃料添加剤もディーゼル燃料に追加しないでください。

特殊な燃料添加剤は以下につながるおそれがあります。

- 故障
- 触媒コンバーターの破損
- エンジン損傷

❗ AdBlue® / DEF は、燃料添加剤ではありません。軽油タンクには入れないでください。AdBlue® / DEF が軽油タンクに混入した場合、エンジン損傷のおそれがあります。

🕒 環境保護に関する注意事項

燃料の取り扱いが不適切な場合、人間と環境を危険にさらすこととなります。燃料を、下水道、地表水、あるいは地中に流れ込ませないでください。

"サービスプロダクト"の項目にある軽油に関するさらなる情報に従ってください（▶ 50 ページ）。承認されていない燃料の使用は、エンジンおよび排気ガス後処理装置への取り返しのつかない損傷、ならびに予測される寿命を著しく減少させる原因となります。

タンクに補充する前

❗ 車両の燃料補給にドラム缶または缶を使用している場合は、補給前に燃料をろ過してください。

汚れた燃料による燃料システムの誤作動を防止できます。

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 車両/装備が動き出さないように固定します。
- ▶ 燃料のグレードを確認してください (▷ 50 ページ)。
- ▶ 暖められたウォーターセパレーター付燃料プリフィルターに水が溜まっていないかを定期的に点検してください (▷ 25 ページ)。

AdBlue®/DEF (EU Stage IIIA 用ではない)

重要な安全上の注意事項

❗ AdBlue®/DEF タンクにディーゼル燃料が入らないようにしてください。さもないと、排気ガス後処理システムを損傷するおそれがあります。

❗ DIN 70070/ISO 22241 にしたがって、AdBlue®/DEF のみを使用してください。添加剤は使用しないでください。

タンクに充填する際に AdBlue®/DEF が塗装面やアルミニウム面に接触した場合は、ただちに付着した面を大量の水ですすいでください。

❗ AdBlue®/DEF に添加剤を混ぜないでください。AdBlue®/DEF を水道水で薄めないでください。これにより、排気ガス後処理システムを損傷することがあります。

❗ AdBlue®/DEF タンクは常に適切に閉じてください。さもないと、不純物が排気ガス後処理システムに入り、損傷するおそれがあります。

❗ AdBlue®/DEF タンクに補給し過ぎていないことを確認します。さもないと、非常に低い温度で AdBlue®/DEF タンクが損傷するおそれがあります。

🕒 環境上の注意事項

AdBlue®/DEF は、環境に配慮した方法で廃棄してください。

AdBlue®/DEF タンクを開いたとき、少量の気化したアンモニアが漏れることがあります。

アンモニアの蒸気には、強い刺激臭があり、以下に特に刺激があります。

- 皮膚
- 粘膜
- 目

この蒸気は、目、鼻、のどに焼けるような感覚や、のどの刺激、流涙を引き起こすことがあります。

アンモニアの蒸気を吸入しないようにしてください。よく換気されたエリアでのみ、AdBlue®/DEF タンクへの補充をしてください。

AdBlue®/DEF が皮膚、目または衣服に接触したり、飲み込まないようにしてください。AdBlue®/DEF は、子供の手が届かない場所に保管してください。

AdBlue®/DEF に触れた場合は、以下に従ってください。

- ただちに水と石鹼で皮膚の AdBlue®/DEF を洗ってください
- AdBlue®/DEF が目に触れた場合は、ただちに清潔な水で洗い流してください。ただちに医師の診察を受けてください
- AdBlue®/DEF を飲み込んだ場合は、ただちに水で口をゆすぎ、多量の水を飲んでください。ただちに医師の診察を受けてください
- AdBlue®/DEF が衣服に付着した場合は、ただちに着替えてください

AdBlue®/DEF は、メンテナンス作業の一部としては補充されません。車両操作中は定期的に、または遅くともエンジン電子制御システムに最初の事象メッセージが表示されたときに、タンクへの補給をしてください。

AdBlue®/DEF についてのさらなる情報は、"サービスプロダクト"の項目をご覧ください (▶ 52 ページ)。

タンクに補充する前

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 車両/装備が動き出さないように固定します。

必ず AdBlue®タンク容量の 10%以上補充してください。これより少ないと、不具合の原因になることがあります。

冬季の取り扱い

冬季の作動の注意事項

! 非常に低い外気温度では、追加されたエンジンオイルが適切な SAE 分類であることを確認してください。非常に低い外気温度に適していないエンジンオイルの使用は、エンジンの損傷につながる可能性があります。

寒冷時の始動前には、以下のことを確認してください。

- 冷却水に十分な不凍液が含まれている (▶ 49 ページ)
- 使用している燃料が冬季の使用に適している (▶ 50 ページ)
- 使用しているエンジンオイルの SAE クラスが外気温度に合っている (▶ 48 ページ)

ジャンプスタート

⚠ 警告

液体または気体のジャンプスタート補助は、燃料蒸気とただちに反応して、容易に発火します。爆発の危険性があります。液体または気体のジャンプスタート補助を使用して、エンジンを始動させないでください。

冷却水の予熱

⚠ 危険

以下の場合には、230 V 電源ソケットに高電圧がかかっています。

- 230 V グリッド接続が確立されている
- 漏電遮断器が作動している

電源ソケットに指を入れると、感電するおそれがあります。これは子供には特に重要です。命にかかわるけがを負う危険性があります。

電源ソケットに指を入れないようにして、子供を電源ソケットに近づけないようにしてください。230 V ローカルグリッドに接続した後は、漏電遮断器が正しく機能しているか定期的に点検してください。

エンジンには冷却水の予熱のため、電気ヒーター部品が取り付けられています。冷却水の予熱は、エンジンがより早く作動温度に達するようにするのに役立ちます。

コールドスタートの段階が短いと、エンジンが作動可能な状態になるまでの時間も短縮し、エンジンの摩耗が少なくなります。

電気ヒーター部品は、230 V の電源供給で、最大 1.5 kW の電力を消費します。

この電力は、外部 (230 V) 電源ソケットによって供給されます。

車両/装備メーカーにより提供されている取扱説明書の情報にも従ってください。

バッテリー

■ エンジンおよび触媒コンバーターが冷めているときのみ、ジャンプスタート処理を実行してください。さもないと、燃料システムまたは触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。

車両の取扱説明書にある、他の車両からお客様の車両をジャンプスタートすることについての注意事項に従ってください。

常に満充電状態になるようにしてください。注意してメンテナンスを行い、電力消費を低く抑えることにより、このことを実現できます。極度の低温下では、冷間始動の始動性能が低下します。例えば-10℃では、通常能力の約60%にしか過ぎません。

軽油

低温度での軽油についての注意事項 (▷ 51 ページ)。

全体的な注意事項

⚠ 警告

メンテナンスまたは修理作業を行なう前に、操作説明書やワークショップ情報などのメンテナンスや修理措置に関する技術文書の関連箇所を読む必要があります。

とくに、まず作業安全および事故防止規定などの法規制に習熟してください。

さもないと、危険を認識できず、お客様や他の方々へけがをすることがあります。

サービス作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすことがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

⚠ 警告

メンテナンスまたは修理作業中に不意にエンジンを始動した場合は、手足が押しつぶされたり、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

メンテナンスや修理作業を実施する前に、エンジンが不意に始動しないように常に注意してください。

⚠ 警告

エンジンルームに残された可燃性物質または衣服は、熱いエンジンの構成部品または排気システムに触れたときに発火することがあります。火災の危険性があります。メンテナンス作業を実施した後は、エンジンルーム内、または排気システムに可燃性の異物がないことを確認してください。

🔗 環境上の注意事項

お客様自身でメンテナンス作業を行なう必要があるような場合は、環境保護規定に従わなければなりません。エンジンオイルなどのサービスプロダクトを廃棄する際は、必ず法規制に従ってください。このことは、サービスプロダクトに接触していたフィルターなど、すべての部品にも適用されます。

空の容器、清掃用の布、および手入れ用品は、環境に配慮した方法で廃棄してください。

手入れ用品に関する指示を守ってください。

停車しているときは、必要以上に長くエンジンをかけたままにしないでください。

すべての技術機器と同様、エンジンシステムには手入れとメンテナンスが必要です。メンテナンス作業の範囲および頻度は、主に以下によって異なります。

- 作動条件の多様性
- 使用されたサービスプロダクト

i すべてのメンテナンス間隔および作業は、メルセデス・ベンツ純正部品にも該当します。これらは、メルセデス・ベンツによりエンジン用に明確に承認されたアクセサリ部品およびサービスプロダクトにも該当します。

点検およびメンテナンス作業には、これらの取扱説明書を読むことによっては習得できない専門技術が必要です。作業およびメンテナンス作業は常に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。行なった作業は、整備手帳の項目で確認してください。定期的なメンテナンスのこの証明は、保証請求をする際に必ず必要になります。

メンテナンス作業の実施に関する説明および重要な情報は、インターネットのワークショップ情報システム (WIS) にあります。メンテナンス作業を実施するときは、この

情報にアクセスしていることを確認します。
WIS に関する情報 (▶ 8 ページ)。

専用アクセサリーのメンテナンス指示にも
従ってください。

車両で作業を行なうときは、取扱説明書、
危険物質に関する法規、環境保護措置、作
業安全および事故防止規定のようなすべて
の安全法規に従ってください。

サービスプロダクト

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サービスプロダクトは健康に有害で危険
です。けがの危険性があります。

サービスプロダクトの使用、保管および
廃棄については、それぞれ元の容器のラ
ベルの指示を遵守してください。サービ
スプロダクトは必ず元の容器に密閉して
保管してください。サービスプロダクト
は必ず子供の手の届かないところに保管
してください。

! 特定の添加剤 (承認された燃料添加物以
外) は、承認されたサービスプロダクトと
一緒に使用する必要もなく、許可もされて
いません。添加剤は、ユニットを損傷する
おそれがあります。したがって、サービス
プロダクトには添加剤を混ぜないでくださ
い。燃料添加物を使用した結果は、お客様
の責任になります。

🌿 環境

燃料および油脂は、環境汚染を配慮して、
廃棄処分してください。

サービスプロダクトには以下のものがあり
ます。

- 燃料 (軽油など)
- 潤滑油 (エンジンオイル、トランスミッ
ションオイル、グリースなど)

- 冷却水、不凍液
- AdBlue®/DEF、排気ガス後処理装置シ
ステムの還元剤 (EU Stage IIIA 用では
ない)

承認された作動溶液類は最高の品質基準を
満たしており、サービスプロダクトについ
てのメルセデス・ベンツ仕様で文書化され
ています。従って、必ず車両用に承認され
たサービスプロダクトを使用してください。
承認されたサービスプロダクトについての
情報は、MTU または MTU 認定メルセデ
ス・ベンツ指定サービス工場ですりてきま
す (▶ 8 ページ)。

メルセデス・ベンツにより承認された作動
溶液類は、容器上の以下の記載により確認
することができます。

- MB-Freigabe (MB-Freigabe
229.51 など)
または
- MB-Approval (例 : MB-Approval
229.51)

品質についての、あるいはその製品が一定
の仕様を満たしていることを示すその他の
ラベルおよび推奨があるからといって、必
ずしもメルセデス・ベンツの承認を受けて
いるわけではありません。さらなる情報は、
MTU または MTU 認証のメルセデス・ベ
ンツ指定サービス工場から入手できます
(▶ 8 ページ)。

i エンジンシステム用にメルセデス・ベ
ンツによりテストおよび承認されたサービ
スプロダクトについての情報は、インター
ネ ッ ト <http://bevo.mercedes-benz.com/> のサービスプロダクトについ
てのメルセデス・ベンツ仕様にあります。

i 潤滑剤の仕様や入手可能性は、変わる
ことがあります。個々の潤滑剤は、特に古
いエンジン用のものは入手できない可能性
があります。情報は、MTU または MTU
承認のサービスセンターで入手できます
(▶ 8 ページ)。

エンジンオイル

エンジンオイルについての注意事項

❗ 本取扱説明書に規定されている品質のものを以外のエンジンオイルは、許可されていません。

オイルの品質は、エンジンの機能および寿命にとって極めて重要です。非常に厳しいテストに基づいて、メルセデス・ベンツは最新の技術標準を満たすエンジンオイルを定期的に承認しています。

サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツ仕様、シート番号 228.51、228.31、228.5 または 228.3 に準拠したエンジンオイルのみを使用してください。

排気ガス後処理装置システム非装備エンジン (EU Stage IIIA)

硫黄含有量の高い軽油を補充する場合は (▷ 41 ページ)、シート番号 228.5 または 228.3 に準拠したエンジンオイルを優先してください。

シート番号 228.51 および 228.5 に準拠したエンジンオイルはより高い品質基準で、以下に有益な効果があります。

- オイル交換の間隔
- エンジンの摩耗
- 燃料消費量
- 排出ガス

納品前に、エンジンには SAE クラス 5W-30 のオイルが補充されています (▷ 23 ページ)。

車両部品に漏れがないかを定期的に点検します。駐車エリアへのオイルの落下などによって液体の漏れが認識された場合は、液体の漏れの原因を指定サービス工場で修理してください。

適用範囲

シート番号 228.51、228.31、228.5 または 228.3 に準拠したマルチグレード

エンジンオイルは、1 年を通じて使用することができます。

オイル交換

❗ エンジンオイルを異なるグレードのオイルと混合した場合は、同一グレードのエンジンオイルを混合したときと比較してエンジンオイルの交換間隔が短くなります。

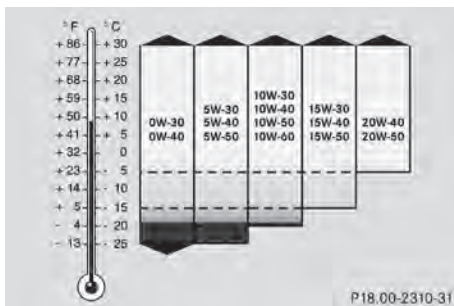
そのため、例外的な状況でのみ異なるグレードのエンジンオイルを混合してください。エンジンの損傷を避けるために、それに応じてメンテナンス間隔を調整しなければなりません。

❗ 使用されているエンジンオイルの SAE クラス (粘度) が -20°C 以下の常に低い外気温度に適していない場合は、エンジンの損傷の原因となることがあります。

SAE クラスの基準温度は、追加されたばかりのオイルに該当します。エンジンオイルは、煤煙や燃料残留物により、走行中に劣化します。とくに低い外気温度では、これによりエンジンオイルの特性が損なわれます。

外気温度が -20°C 以下の場合は、SAE クラス 5W-30 または 0W-30 のエンジンオイルの使用を、メルセデス・ベンツは強く推奨します。

オールシーズン用オイルのみを使用してください。



エンジンオイル SAE クラス (粘度)

- ▶ 季節ごとの平均外気温度に適した SAE グレード（粘度）のエンジンオイルを選択してください。

オイル交換の間隔は、以下により変わります。

- 車両の運転条件
- 使用されているエンジンオイルのグレード

最長のオイル交換の間隔は、サービスプロダクトで使用されているメルセデス・ベンツ仕様のシート番号 228.51 および 228.5 に準拠した、特に高品質のエンジンオイルのみを使用することにより得られます。オイル交換間隔の分類は、整備手帳に規定されています。

エンジンオイルの追加/補給

■ 非常に多くのオイルを追加した場合は、触媒コンバーターまたはエンジンへの損傷の危険性があります。余分なオイルは吸い上げてください。

補充する際は、メルセデス・ベンツは、必ず最後のオイル交換のときと同じグレードと SAE クラスのエンジンオイルを使用することを推奨します。

エンジンオイルを補充する前に、オイルレベルを点検してください（▶ 23 ページ）。

エンジンオイルの混和性

高品質のエンジンオイルの効果は、混ぜ合わせると失われます。

エンジンオイルは、以下により区別されます。

- エンジンオイルブランド
- 品質等級（シート番号）
- SAE 粘度等級

現在のエンジンで使用されている種類のエンジンオイルが入手できないという例外的な状況では、別の鉱物または合成エンジンオイルを使用できます。それがメルセデ

ス・ベンツで承認されていることを確認してください。

以下に従ってください：低品質のエンジンオイルを補充する場合は、低品質（シート番号）に応じた点検整備時期を適用しなければなりません。点検整備期間が短くなります。高品質のエンジンオイルを補充する場合は、点検整備時期は変わりません。整備手帳の注意事項に従ってください。

冷却水

⚠ 警告

特にエンジンが温かいとき、冷却システムは加圧されています。キャップを開いた場合は、熱い冷却水が噴き出した場合にやけどするおそれがあります。けがのおそれがあります。

キャップを開く前にエンジンを冷やしてください。手袋と目を保護するものを着用してください。キャップをゆっくりと開き、圧力を下げます。

⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

不凍液を充填する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

■ 冷却水レベルが著しく低い場合は、車両を作動させないでください。さもないと、エンジンが損傷するおそれがあります。

工場では、防錆/不凍保護、および他の重要な保護効果を行うことができる冷却水が補充されています。

冷却水は、水と防錆剤/不凍液の混合物です。

冷却水内の防錆剤/不凍液には、以下の特徴があります。

- 放熱
- 防錆保護
- キャビテーション防止（ピッチング防止）
- 凍結防止
- 沸点の上昇

外気温度が高い国でも、エンジン冷却システムの冷却水は1年中そのままにしてください。

半年ごとに、冷却水内の防錆剤/不凍液の濃度を点検してください。

整備手帳に規定されているインターバルで冷却水を交換してください。

冷却水を補充しなければならない場合は、許可された防錆剤/不凍液のみを使用してください（▶ 75 ページ）。サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツ仕様に留意してください（▶ 47 ページ）。これにより、エンジン冷却システムおよびエンジンへの損傷を防ぎます。

冷却水回路の外で水と防錆剤/不凍液を混合し、必ずその後で混合液を冷却システムに加えてください。

冷却水を交換するときは、容量比で50%の防錆剤/不凍剤が含まれていることを確認してください。これにより、-37℃までの凍結防止に対応します。

容量比で55%を超えないようにしてください（約-45℃以下の凍結防止）。さもないと、放熱や凍結防止に悪影響を与えることがあります。

冷却水の漏れがある場合は、水のみを使用して補充せず、承認された防錆剤/不凍液も加えてください。

冷却水の水は、飲料水の使用の条件を一般的に満たすような、一定の要件を満たしていなければなりません。品質が必要な基準

を満たしていない場合は、水を処理する必要があります。

サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツ仕様、シート番号 310.1 に留意してください。

異なる防錆剤/不凍液との混合は許可されていません。

軽油

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

燃料には高い可燃性があります。不適切な燃料の取り扱いは、火災や爆発の危険性につながります。

火、裸火、火花の発生および喫煙を避けてください。給油する前にエンジン、および該当する場合は補助ヒーターを停止してください。

⚠ 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

❗ 車両の燃料補給にドラム缶または缶を使用している場合は、補給前に燃料をろ過してください。

汚れた燃料による燃料システムの誤作動を防止できます。

■ 排気ガス後処理装置付エンジンシステム：

必ず以下の基準に適合した市販のサルファーフリー軽油を使用して給油してください。

- EN 590 2010年現在、以下参照（最大0.001重量%の硫黄）（10 ppm）または
- ASTM D975（最大0.0015重量%の硫黄）（15 ppm）

以下の燃料種類は許可されていません。

- 硫黄含有量 0.005 重量%以上の硫黄燃料（50 ppm）
- 船舶機用軽油
- 航空タービン燃料
- 暖房用軽油
- 脂肪酸メチルエステル FAME（バイオディーゼル軽油）

これらの種類の燃料は、エンジンおよび排気ガス後処理装置に回復不可能な損傷を与え、予想寿命も著しく短縮させます。

■ 排気ガス後処理装置システム非装備エンジン（EU Stage IIIA）：

最大 0.05 %重量%の硫黄（500 ppm）の標準燃料のみが許可されます。しかし、メルセデス・ベンツは 2010 年以降の欧州規格 EN 590（最大 0.001 重量%の硫黄）（10 ppm）または ASTM D975（最大 0.0015 重量%の硫黄）（15 ppm）に適合する燃料を使用することを推奨します。

以下の燃料種類は許可されていません。

- 硫黄含有量 0.05%重量%以上の硫黄燃料（500 ppm）
- 船舶機用軽油
- 航空タービン燃料

- 暖房用軽油
- 脂肪酸メチルエステル FAME（バイオディーゼル軽油）

これらの種類の燃料は、エンジンに回復不可能な損傷を与え、予想寿命も著しく短縮させます。

■ 硫黄含有率の高い燃料は、エンジンオイルの経年変化を高め、エンジンおよび排気システムを損傷するおそれがあります。

燃料等級

① 国により、様々な硫黄含有量の軽油があります。硫黄含有量の低い軽油は、一部の国では“ユーロディーゼル”という名称で販売されています。

国別の硫黄含有量についての最新情報は、MTU または MTU 認定メルセデス・ベンツ指定サービス工場です（▶ 8 ページ）。

含水量

車両とエンジン間の移動地点での最大許容含水量は、200 mg/kg 以上になってはいけません。含水量が多い場合は、追加のウォーターセパレーターをシャーンに取り付けなければなりません。

多量の汚れや水を含んだ状態でエンジンをかける場合は、追加のウォーターセパレーター付燃料プレフィルターをシャーンに取り付けなければなりません。

低温時の軽油

⚠ 警告

ヒートガンや裸火などで燃料システムの構成部品を暖めた場合は、損傷するおそれがあります。燃料が漏れて発火するおそれがあります。損傷の種類によっては、エンジンが作動しているときにのみ燃料が漏れ出ることもあります。火災および爆発の危険性があります。

燃料システムの構成部品を暖めないでください。メルセデス・ベンツ指定サービ

ス工場に連絡して故障を修理してください。

低い外気温度では、パラフィン分離により軽油の流動性が不十分になる原因になることがあります。

作動上の問題を予防するために、冬季には、流動性を改良した軽油が入手できます。

冬季用の軽油燃料は、ドイツやその他の中欧諸国では外気温度が-22℃まで低下しても信頼できます。通常は、販売されている国で予想される外気温度で問題なく冬季用の軽油燃料を使用できます。

燃料添加物

! 必要に応じて、指定された燃料添加剤のみを使用してください。

指定品以外の添加剤を使用すると、エンジン性能を低下させ触媒コンバータを損傷する危険性があります。運転者には、適切な燃料添加剤を使用する責任があります。

! 流動特性を改善するために、ガソリンまたは灯油をディーゼル燃料に加えないでください。ガソリンまたは灯油は、ディーゼル燃料の潤滑性能を損ないます。これにより燃料噴射システムなどの損傷につながる可能性があります。

さらに低い温度のために、エンジンには、燃料予熱システムを装備することができます。これにより取り付けられたヒーターの出力に従って、軽油の流動特性が改善されます。

流動特性を改善するために使用される燃料添加物は、軽油用凍結防止剤です。

-22℃までの作動を保証している冬季用の軽油燃料に凍結防止剤を加えないでください。凍結防止剤の結果により、燃料の低温流動特性が損なわれることがあります。

AdBlue®/DEF (EU Stage IIIA 用ではない)

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

AdBlue®/DEF が皮膚や目や衣類に接触しないようにしてください。

- AdBlue®/DEF が目や皮膚に付着した場合は、ただちに付着した場所をきれいな水で入念に洗い流してください。
- AdBlue®/DEF を飲み込んだ場合は、ただちに口をきれいな水ですすぎ、大量の水を飲んでください。
- AdBlue®/DEF が付着した衣類は、ただちに着替えてください。
- アレルギー反応が生じた場合は、ただちに病院に駆けつけてください。

AdBlue®/DEF は、子供の手が届かない場所に保管してください。

! DIN 70070/ISO 22241 にしたがって、AdBlue®/DEF のみを使用してください。添加剤は使用しないでください。

タンクに充填する際に AdBlue®/DEF が塗装面やアルミニウム面に接触した場合は、ただちに付着した面を大量の水ですすぎてください。

"尿素"と"DEF" (ディーゼルエキゾーストフルード) という用語も、"AdBlue®"として使用されます。

AdBlue®/DEF タンクが AdBlue®/DEF で満たされている場合は、タンクキャップを緩めたときに圧力変動が起こることがあります。AdBlue®/DEF が溢れることがあります。そのため、AdBlue®/DEF のタンクキャップは慎重に開けてください。AdBlue®/DEF が溢れた場合は、影響を受けた範囲をただちに多量の水で洗ってください。

AdBlue®/DEF タンクを開いたとき、少量の気化したアンモニアが漏れることがあります。

アンモニアの蒸気には、強い刺激臭があり、以下に特に刺激があります。

- 皮膚
- 粘膜
- 目

この蒸気は、目、鼻、のどに焼けるような感覚や、のどの刺激、流涙を引き起こすことがあります。

アンモニアの蒸気を吸入しないようにしてください。よく換気されたエリアでのみ、AdBlue®/DEF タンクへの補充をしてください。

AdBlue®/DEF が皮膚、目または衣服に接触したり、飲み込まないようにしてください。AdBlue® は子供の手の届かない場所に保管してください。

AdBlue®/DEF に触れた場合は、以下に従ってください。

- ただちに水と石鹼で皮膚の AdBlue®/DEF を洗ってください。
- AdBlue®/DEF が目に触れた場合は、ただちに清潔な水で洗い流してください。ただちに医師の診察を受けてください。
- AdBlue®/DEF を飲み込んだ場合は、ただちに水で口をゆすぎ、多量の水を飲んでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- AdBlue®/DEF が衣服に付着した場合は、ただちに着替えてください。

高い外気温度

⚠ 警告

高温の場所で AdBlue®/DEF のタンクキャップを開くと、アンモニアの蒸気が漏れることがあります。

アンモニアの蒸気には、強い刺激臭があり、以下にとくに刺激があります。

- 皮膚
- 粘膜
- 目

この蒸気は、目、鼻、のどに焼けるような感覚や、のどの刺激や流涙を引き起こすことがあります。

アンモニアの蒸気を吸い込まないようにしてください。

AdBlue®/DEF の化学成分は、長時間 50 °C 以上に加熱されると、分解することがあります（タンクに直射日光が当たった場合など）。そうすると、アンモニアの蒸気が発生します。

低い外気温度

AdBlue®/DEF は約-11 °C の温度で凍結します。

装備および国により、車両の AdBlue®/DEF 供給システムが暖められることがあります。車両の取扱説明書をご覧ください。例えば寒冷時の作動は-11 °C 以下の温度で保証されています。

添加剤、水道水

■ AdBlue®/DEF に添加剤を混ぜないでください。AdBlue®/DEF を水道水で薄めないでください。これにより排気後ガス処理システムを破損することがあります。

保管

■ 以下の素材で作られた容器は、AdBlue® の保管に適していません。

- アルミニウム
- 銅
- 銅合金
- 非合金鋼
- 亜鉛めっき鋼

これらの種類の容器に AdBlue® を保管すると、これらの金属の成分が溶け出して、排気ガス後処理装置を修理できないほど損傷するおそれがあります。

AdBlue®を保存するためには、以下の素材でできた容器のみを使用してください。

- DIN EN 10 088-1/2/3 に準拠したクロームニッケル鋼
- DIN EN 10 088-1/2/3 に準拠したニッケルクロームモリブデン鋼
- ポリプロピレン
- ポリエチレン

廃棄

Ⓞ 環境上の注意事項

AdBlue®/DEF は、環境に配慮した方法で廃棄してください。

関係各国の AdBlue®/DEF の廃棄に関する法令および規定に従ってください。

純度

❗ AdBlue®/DEF の不純物、たとえば他のサービスプロダクト、洗浄プロダクトまたはホコリにより、以下を引き起こすことがあります。

- 排出物値の上昇
- 触媒コンバーターの破損
- エンジン損傷
- 排気ガス後処理システムの故障

排気ガス後処理装置システムの不具合を避けるために、AdBlue®/DEF は常に純粋であるようにしてください。

修理中などに、AdBlue®/DEF をタンクから排出した場合は、その液体はタンクに再充填しないでください。さもないと、液体の純度が保証されません。

手入れ

手入れに関する注意事項

定期的な手入れは、エンジンの価値を維持するのに役立ちます。

メルセデス・ベンツは、メルセデス・ベンツによってテストされ承認されたカーケア用品のみを使用することを推奨します。これらのカーケア用品は、MTU または MTU 認証メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですぐ入手できます (▶ 8 ページ)。

高圧洗浄

Ⓞ 環境上の注意事項

この目的のために設計された洗車場でのみ車両を洗浄してください。空の容器および使用済みの洗浄用品は、環境に配慮した方法で廃棄してください。

❗ 排気ガス処理装置システムは、必ず冷機時に清掃してください。さもないと、センサーを損傷するおそれがあります。

❗ 清掃する際は、絶対にウォータージェットをエグゾーストパイプに向けないでください。さもないと、システムを損傷するおそれがあります。

❗ 高圧洗浄機を使用する際は、高圧ノズルとエンジン部品の間で最低限の距離を置いてください。さもないと、エンジン部品を損傷するおそれがあります。

以下の最低距離を守ってください。

- 丸いスプレージェットでは約 70 cm
- 25° のフラットスプレージェットでは約 30 cm
- パワー集中ジェットでは約 30 cm

❗ 洗浄時には、ウォータージェットを常に動かして行ってください。こうすることで、損傷を防ぐことができます。

以下にウォータージェットを向けないでください。

- 電気部品
- プラグコネクター
- シール
- ホース

エンジンの洗淨

! エンジンを洗淨するときは、以下の注意事項を守ってください。これにより、エンジンの故障や損傷を防ぎます。

- 高圧またはスチーム洗淨機を使用する場合は、スプレーを直接、電気部品や電気ケーブルに向けしないでください。
- エアインテークやベンチレーションの開口部に水が入らないようにしてください。
- 洗淨した後は、エンジンを防錆剤で処理してください。そうするときは、ベルトドライブシステムを防錆剤から保護します。
- サービスプロダクト用メルセデス・ベンツ仕様のシート番号 385.4 に準拠したエンジン用のワックスベースの保護剤のみを使用してください。

さらに、"高圧洗淨"の注意事項に従ってください (▷ 54 ページ)。

全体的な注意事項

エンジン/車両の使用を停止するためには、特別な処置が必要です。

バッテリーに関する情報：エンジン/車両を3週間以上使用しない場合は、バッテリーのマイナス端子を外してください。これにより、無負荷時消費電流を原因とするバッテリー放電を防止します。

エンジン / 車両 / 装備を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外し、乾燥した、換気の良い場所に保管してください。

少なくとも3ヶ月ごとにバッテリーを再充電してください。

充電中は必ず十分に換気してください。充電の前後に、バッテリー液レベルを点検し、必要な場合は修理してください。さらなる情報 (▷ 44 ページ)。

6 ヶ月間までの使用停止

エンジン/車両の使用を停止する際は、屋根があり、乾燥して風通しの良い場所に保管してください。室内温度が、-10℃以下に下がらないようにしてください。

使用停止前の措置：

- エンジン/車両を十分に清掃します
- 腐食の斑点があれば、エンジンから取り除きます
- 最後のオイル交換が20,000 km (または約300運転時間) 以上前に実施された場合は、エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換してください
オイルを12ヶ月以上使用している場合も、エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。
- 冷却水レベルを点検して調整するか、冷却水を交換します
- 冷却水に含まれる防錆剤/不凍液の含有量を点検して修正します

- AdBlue®/DEF の結晶化を防ぐために、タンクがいっぱいになるまで AdBlue®/DEF を補充します (EU Stage IIIA 用ではない)
- 燃料システムのウォーターセパレーター
の排水をします

使用停止中の措置

月に1度以上はエンジンを始動させ、15～30分間約900 rpm でかけたままにします。

車両装備により、以下で行ってください。

- クライメートコントロールシステムを設定した状態で
- 暖房を設定した状態で
- 補助ヒーターを設定した状態で

エンジンを FAME フリー燃料 (B0 軽油/バイオディーゼル軽油を含まない²⁾) で作動させ、続けて使用停止した場合は、月ごとのエンジン始動を省略することができます。各エンジン始動の前に、エンジンオイルレベルおよび冷却水レベルを点検しなければなりません。燃料フィルターまたは燃料プレフィルターにウォーターセパレーターが装備されている車両では、必要な場合はさらにウォーターセパレーターの排水をしてください。始動してエンジンがかかっている間は、オイル圧力ならびに冷却水温度に注意してください。

再試運転前の措置

- バッテリーを取り付けて、接続します
- 電気システムが正しく機能しているかを点検します
- ケーブル、ホースおよびラインが裂けたり、漏れたりしていないかを点検します
- エンジンオイルレベルを点検します
- ステアリングおよび油圧ファン駆動部のオイルレベルを点検します
- 冷却水レベルを点検し、必要な場合は修正してください

²⁾ さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場から入手できます。

- AdBlue®/DEF レベル (EU Stage IIIA 用ではない) を点検してください
- 燃料レベルを点検します
- エンジンを始動させ、作動温度になるまで中程度のエンジン回転数でかけたままにします (冷却水温度)。そうしている間は、油圧、冷却水温度およびオイル温度の表示灯に注意してください
- 補助ヒーター装備車両: 補助ヒーターを設定し、作動を点検します
- ステアリングおよびブレーキの作動を点検します
- 点検整備の期限がきているかを確認し、必要な場合は実施します

6 ヶ月以上の使用停止

車両を 6 ヶ月以上使用停止にする場合は、さらに措置が必要です。詳細は、MTU または MTU 承認メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください (▷ 8 ページ)。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

⚠ 警告

エンジンルームには可動部品があります。ラジエーターファンなどの特定の構成部品は、イグニッションをオフにした後も動き続けたり、再度突然動くことがあります。けがの危険性があります。

エンジンルームの作業を行わなければならない場合は：

- イグニッションをオフにしてください。
- ファンの回転範囲など、可動部品周囲の危険な範囲には決して触れないでください。
- 宝飾品や時計は外してください。
- 衣服や髪の毛などの物は、動いている部品から離してください。

⚠ 警告

メンテナンスまたは修理作業中に不意にエンジンを始動した場合は、手足が押しつぶされたり、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

メンテナンスや修理作業を実施する前に、エンジンが不意に始動しないように常に注意してください。

⚠ 警告

いくつかのエンジン構成部品は非常に高温になることがあります。エンジンの作業を行なうときに、けがの危険性があります。

エンジンをできるだけ冷まし、以下に記載されている構成部品にのみ触れてください。

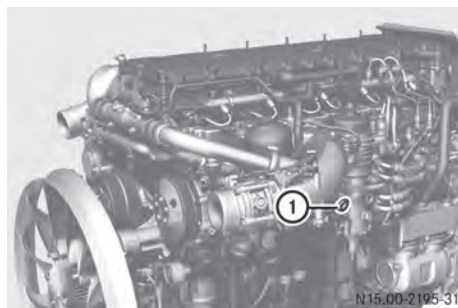
車両で作業するときは、取扱説明書、危険物についての法規、環境保護措置、作業安全性、事故防止規制のような安全性についてのすべての法規に必ず従ってください。公道での作業時には、道路や交通の状況に注意し、安全な作業場所を確保してください。

エンジンを慎重に操作したり、メンテナンスを行うことは別に、適切なタイミングで不具合を修理することも重要です。

一部の故障は、お客様自身で修理ができません (▷ 63 ページ)。

ご自身で修理できない不具合は、指定サービス工場で修理してください。

外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ



外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチを使用して、エンジンを始動および停止することができます。

エンジンを始動する前に

- ▶ エンジンスイッチのキーをドライブポジションにまわします。
- ▶ ギアをニュートラルに入れます。
- ▶ 車両が動き出さないように固定します。
- ▶ パワーテイクオフを解除します。

エンジンを始動する

- ▶ エンジンが始動するまで、外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ ①を押します。

エンジンを始動して、エンジン回転数を上げる

- ▶ 希望のエンジン回転数に達するまで、外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ ① を押します。

エンジンが始動し、アイドル回転数で作動します。

約 3 秒後に、エンジン回転数が上がりません。外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ ① を放した後に、現在設定されている回転数でエンジンがかかり続けます。

エンジン回転数は制限回転数まで上昇させることができます。

- ▶ **エンジンがただちに始動しない場合**：30 秒以内に始動プロセスを中断します。
- ▶ 約 1 分の待機時間後に始動プロセスを繰り返します。
- ▶ 始動を 3 回試みたら、約 3 分間休んでから再開してください。
- ▶ エンジンが始動できなかった場合：始動特性悪化の原因を修理してください (p. 63 ページ)。
- ▶ エンジンが始動したら、ただちに油圧ゲージを確認してください。

エンジンを停止する

- ▶ 外部エンジンスタート/エンジンストップスイッチ ① を再度押します。

i エンジン (EU Stage IIIA 用ではない) が停止したときに、システムが少しの間作動し続けることがあります。取り付け位置、操作状況および周囲の温度によっては、冷却を確実にを行うために AdBlue®/DEF の循環が必要です。このため、この時間中は AdBlue®/DEF のデリバリーポンプが作動します。

燃料システムのエア抜きおよびドレイン

空で作動した燃料システムに給油した後のエア抜きは、次にエンジンが始動したときに実行されます。エア抜きは、フィルター内で自動的かつ継続的に行われます。

空で作動した燃料システムに給油した後のエア抜きは、手動給油ポンプを使用して手動で行われます。

シャーシに装着されたウォーターセパレーター付き温式燃料プレフィルターは、以下のようにエア抜きを行ってください。

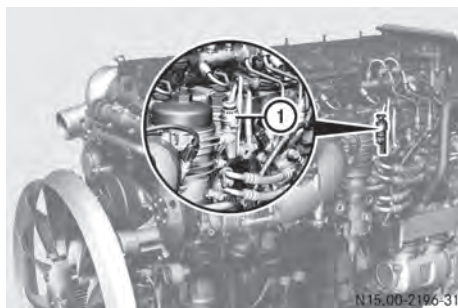
- ▶ エンジン側の燃料回路をエア抜きする前に、シャーシのウォーターセパレーター付き燃料プレフィルターをエア抜きします。

シャーシフレームの燃料プレフィルターなしの燃料システムをエア抜く

エンジンの手動給油ポンプで燃料システムのエア抜きを行ってください。

! エンジンを数回始動することによる、燃料システムのエア抜きを行なわないでください。さもないと、スタータモーターを損傷するおそれがあります。

- ▶ エンジンスイッチをドライブの位置に切り替えます。
- ▶ ギアをニュートラルに入れます。
- ▶ 燃料タンクの給油口キャップを外します。

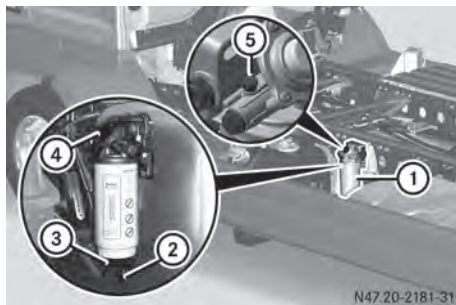


- ▶ メインフィルターの手動給油ポンプのハンドル ① を約 3 分間で約 250 回、または著しい手応えを感じるまで押します。
 - ▶ 約 5 秒以内に、外部エンジンスタート/エンジンストップを押して、エンジンを始動します。
 - ▶ エンジンが始動した場合は、エンジン回転数を上げてエンジンを作動させます。
 - ▶ エンジンが始動しない場合は、プロセスを繰り返します。
 - ▶ 燃料タンクの給油口キャップを締め付けます。
 - ▶ エンジンスイッチのキーをスタートポジションにまわして保持します。この操作中は、アクセルペダルを踏まないでください。
- i** 約 40 秒後に始動プロセスは自動的に中止されます。
- ▶ 約 1 分の待機時間後に開始プロセスを繰り返します。
 - ▶ 始動を 3 回試みたら、約 3 分間休んでから再開してください。
 - ▶ エンジンが正常に始動した場合は、アクセルペダルを数回踏みます。燃料システムは完全にエア抜きされます。

シャーシフレームの燃料プレフィルター付きの燃料システムをエア抜く

Ⓢ 環境上の注意事項：

水と燃料の混合物を処分するときは、環境に配慮してください。



例：シャーシフレームの燃料プレフィルター点検窓 ③ に水が集められた場合は、エア抜きの前にシャーシフレームの燃料プレフィルター ① の排水をします。シャーシフレームの燃料プレフィルター ① を定期的に排水します。

シャーシフレームの燃料プレフィルターの排水をする

- ▶ ドレンプラグ ② の下に容器を置きます。
- ▶ ドレンプラグ ② をまわして開きます。
- ▶ 手動給油ポンプ ④ を押して、燃料/水の混合物を集めます。
- ▶ ドレンプラグ ② をまわして閉じます。

シャーシフレームの燃料プレフィルターの手動給油ポンプを使用してのエア抜き

- ▶ 燃料タンクの給油口キャップを取り外します。
- ▶ 燃料プレフィルター ① の下に容器を置きます。
- ▶ ブリードスクリー ⑤ を取り外します。

▶ ブリードスクリュー ⑤ で流れ出ている燃料に泡がなくなるまで、手動給油ポンプ ④ を繰り返し押しします。

▶ ブリードスクリュー ⑤ を締め付けます。

❶ 燃料タンクに燃料がない場合は、著しい手応えがあるまで手動給油ポンプ ④ を再度押しします。

❶ そして、"シャーシフレームの燃料プレフィルターなしでの燃料システムのエア抜き"に記載されているように、メインフィルターの手動給油ポンプを使用して、エンジンの燃料回路をエア抜きします。

燃料フィルターの水抜き

Ⓢ 環境上の注意事項：

水と燃料の混合物を処分するときは、環境に配慮してください。



▶ ドレンプラグ ① の下に容器を置きます。

▶ ドレンプラグ ① をまわして開きます。

▶ きれいな燃料が流れるまで、燃料/水の混合液を集めて水抜きします。

▶ ドレンプラグ ① をまわして閉じます。

ヒューズ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

切れたヒューズを使用したり、ブリッジしたり、またはより高いアンペア数のヒューズと交換すると、ケーブルに過負荷がかかります。火災の原因になります。事故やけがの危険性があります。

切れたヒューズは、必ず正しいアンペア数の指定された新品のヒューズと交換してください。

それぞれの電気回路は、安全ヒューズまたは自動回路遮断機により保護されています。切れたヒューズまたは故障している自動回路遮断機は、ヒューズ配置表で推奨されているヒューズ定格と同等のヒューズと交換しなければなりません。同じヒューズ定格のヒューズは同じ色です。

さらなる情報は、MTUまたはMTU 認証のメルセデス・ベンツ指定サービス工場から入手できます (▶ 8 ページ)。

車両に規定されているヒューズ配置表は、車両製造元によって提供されています。

新しく差し込まれたヒューズも切れた場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場 で原因を調べて修理してください。

▶ 回路が故障した場合は、電気装備を停止し、エンジンスイッチを 0 の位置に切り替えます。

安全ヒューズの点検と交換

▶ プライヤーを使用してモジュールからヒューズを引き出し、目視点検をします。

▶ ヒューズのワイヤーが溶けている場合は、切れたヒューズをスペアヒューズと交換します。

▶ 電気装備を作動させ、正しく機能していることを点検します。

安全ヒューズが再度切れた場合は、指定サービス工場で電気システムを点検してください。

ジャンプスタート

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

バッテリーを取り扱うときは、安全上の注意事項および防護措置を守ってください。



爆発のおそれがあります。



バッテリーを取り扱うときは、火気や直火、タバコなどを近づけないでください。火花が発生しないように注意してください。



バッテリー液は腐食性があります。皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。

手袋やエプロン、マスクなど、適切な保護衣を着用してください。

バッテリー液が付着したときは、すぐに清潔な水で十分に洗い流してください。応急処置の後、医師の診察を受けてください。



保護眼鏡を着用してください。



子供を近づけないでください。



取扱説明書の指示に従ってください。

⚠ 警告

バッテリー液は腐食性です。けがのおそれがあります。

肌、目または衣服への接触を避けてください。バッテリーのガスを吸い込まないでください。バッテリーでメンテナンス作業を行なうときは、耐酸性の保護服、特に保護メガネ、保護手袋およびエプロンを着用してください。バッテリーの上でかがまないでください。バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。

バッテリー液に接触した場合は、以下に従ってください：

- ただちに、大量の清潔な水で肌からバッテリー液を洗い流し、すぐに医師に相談してください。
- バッテリー液が目に入った場合は、ただちに大量の清潔な水で目を洗い流してください。すぐに医師に相談してください。

⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近づけないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

❗ 以下の注意事項に従ってください。さもないと、バッテリーまたは車両の電子部品を損傷することがあります。

- ジャンプスタートに急速充電器を使用しないでください。
- 携帯充電器（主電源付きバッテリー機器）を使用する場合は、ジャンプスタートの前にメインプラグを外してください。
- ジャンプスタートは24Vシステム装備の車両のみにより行なってください。

- 極性反転に対して保護された、ワイヤーの断面が約 35 - 50 mm² のブースターケーブルおよび絶縁された端子クランプを使用してください。
- 外気温度が -10 °C 以下に下がった場合は、放電したバッテリーは凍結することがあります。このような状況下では、エンジンを始動しないでください。まずバッテリーを解凍してください。

! ブースターケーブルのマイナス端子クランプをシャーシフレームに接続しないでください。さもないと、エンジンまたはトランスミッションの構成部品が損傷するおそれがあります。

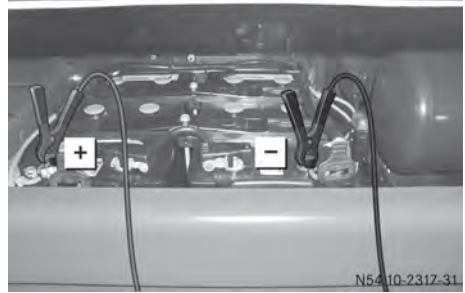
! ブースターケーブルを取り外したときは、車両のエンジンをジャンプスタートのアイドルリングのままにしてください。これにより、車両の電子部品に起こる損傷を防ぎます。

全体的な注意事項

バッテリーを取り扱うときは、安全性と保護措置に関する指示に従ってください。ジャンプスタート後は、バッテリーを指定サービス工場で点検してください。

- ▶ 車両が接触していないことを確認します。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ すべての電子機器を解除します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわします。

ジャンプスタート接続端子非装備車両



ブースターケーブルを接続する

- ▶ バッテリー収納部カバーを取り外します。
- ▶ まずブースターケーブルのプラス端子クランプを救援用バッテリーのプラス端子に、その後スターターバッテリーの **+** プラス端子に接続します。
- ▶ まずブースターケーブルのマイナス端子クランプを救援用バッテリーのプラス端子に、その後スターターバッテリーの **-** マイナス端子に接続します。
- ▶ 支援車両：エンジンをかけて回転数を上げます。
- ▶ エンジンを始動して、アイドルリングさせます。

ブースターケーブルを切り離す

- ▶ まず、ブースターケーブルのマイナス端子クランプをマイナス端子から切り離します。
- ▶ ブースターケーブルのプラス端子クランプをプラス端子から取り外します。

トラブルシューティング

エンジンのトラブル

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

エンジンを慎重に操作したり、メンテナンスを行うことは別に、適切なタイミングで不具合を修理することも重要です。故障の種類によっては、お客様自身で修理ができます。ご自身で修理できない故障は、指定サービス工場で修理してください (▶ 8 ページ)。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ドライブピニオンが回転しない、または非常にゆっくり回転する。	バッテリーが十分に充電されていない。 ▶ バッテリーを充電してください。
	スターターモーターへの接続ケーブルが緩んでいる。 ▶ ターミナルのケーブルを締め付けてください。必要であれば、新しいターミナルをはんだ付けします。
	バッテリーへのアース接続が緩んでいる。 ▶ ターミナルのケーブルを締め付けてください。必要であれば、新しいターミナルをはんだ付けします。
	スターターモーターのソレノイドスイッチが故障している、またはスターターモーターが故障している。 ▶ 指定サービス工場で点検してください。
エンジンが始動しない、またはすぐに再度停止する。	燃料タンクが空である。 ▶ 燃料タンクに給油してください (▶ 41 ページ)。
	燃料フィルターが詰まっている。 ▶ 燃料フィルターエレメントを交換してください。
	燃料プレフィルターに水が混入している。 ▶ 燃料プレフィルターの排水をしてください。
	燃料プレフィルターが詰まっている。 ▶ 燃料フィルターエレメントを交換してください。
	漏れがあるか、あるいは燃料低圧回路の圧力が不十分である。 ▶ 漏れを点検し (目視点検)、必要な場合はシール部を交換してください。
	▶ 指定サービス工場で燃料圧力テストを行ってください。シール部を交換してください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>外気温度が低いときにエンジンが始動しない。</p>	<p>燃料に耐寒性がない。 パラフィン分離により、軽油の流動性が適切でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ パラフィン分離から生じる故障は、暖められたエリアに車両を駐車させることなどで、燃料システム全体を暖めることにより直ります。 ▶ 冬季用燃料を給油してください (▶ 51 ページ)。 <p>エンジンオイル粘度が不適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 使用条件に合わせて、エンジンオイル粘度を修正してください (▶ 48 ページ)。 ▶ さらに試みた後にエンジンが始動しない場合は、指定サービス工場で原因を探し、修理してください。
<p>エンジンが不意に停止する。</p>	<p>エンジン制御 (MCM) または排気ガス後処理装置 (ACM) (EU Stage IIIA 用ではない) コントロールモジュールへの電力供給が遮断されている、または配線がショートしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ヒューズを点検してください ▶ 電源供給を指定サービス工場点検してください。 <p>漏れがあるか、あるいは燃料低圧回路の圧力が不十分である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 漏れの点検を行ってください (目視点検)。 ▶ 指定サービス工場点検してください。
<p>エンジンがエマージェンシー作動モードになっている。</p>	<p>エンジン制御 (MCM) コントロールクラスターのデータフローが中断している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリーターミナルおよびコントロールユニットのコネクターの確実な取り付けと腐食を点検してください。 ▶ コントロールユニットの故障メモリーを読み出してください。 ▶ 指定サービス工場点検してください。
<p>エンジンの回転が急上昇する、振動する、あるいは不規則に作動する。</p>	<p>ガスシステムに故障がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 漏れの点検を行ってください (目視点検)。 ▶ コントロールユニットの故障メモリーを読み出してください。 ▶ 指定サービス工場点検してください。
<p>エンジンの出力が低い (出力がない)。</p>	<p>エアフィルターが汚れている、または詰まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エアフィルターエレメントを交換してください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>チャージエア温度が高すぎる。チャージエアクーラーまたはラジエターの外側が汚れている。</p> <p>▶ チャージエアクーラーおよびラジエターの外側を清掃してください。</p> <p>冷却水温度が高すぎる。</p> <p>▶ 温度センサーを点検して、必要な場合は交換してください。ファン回転数を点検してください。</p> <p>▶ サーモスタットを点検し、必要な場合は交換してください。指定サービス工場にご相談ください。</p> <p>燃料システムの不具合（詰まり、漏れ）。</p> <p>▶ 目視で漏れを点検してください。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p> <p>燃料グレードが低い</p> <p>▶ 指定された燃料の種類と燃料グレードを使用してください（▷ 50 ページ）。</p> <p>チャージエアシステムに漏れがある。チャージエアホースのホースクリップが緩んでいるか、損傷している。</p> <p>▶ チャージエアシステムに漏れがないか点検してください。</p> <p>▶ チャージエアプレッシャーセンサーを点検し、必要であれば交換してください。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p> <p>排出ガスに関する故障により、作動制限が作動している（EU Stage IIIA 用ではない）。</p> <p>▶ 警告灯および表示灯についての注意事項に従ってください（▷ 31 ページ）。</p>
駆動力の遮断がある。	<p>原因を指定サービス工場で確定してください。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p>
エンジンブレーキの効果が低い。	<p>原因を指定サービス工場で確定してください。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p>
燃料消費量が多すぎる。	<p>燃料消費の項目の操作に関する注意事項をご覧ください（▷ 40 ページ）。</p> <p>▶ トラブルが解決できない場合は、指定サービス工場にご相談ください。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンが熱くなりすぎている（冷却水温度計による）。	冷却回路に十分な冷却水がない。 ▶ 冷却水を追加し、システムのエア抜きをしてください。
	冷却水温度センサーまたはディスプレイが故障している。 ▶ センサーまたはディスプレイを交換してください。
	ポリ V ベルトが損傷している。 ▶ ポリ V ベルトを交換してください。
	ファンが正常に作動しない。 ▶ 指定サービス工場にご相談ください。
	ラジエターの内側が汚れている。ラジエターの外側がひどく汚れている。 ▶ ラジエターを清掃してください。
	サーモスタットが故障している。 ▶ 点検して、必要な場合は交換してください。 ▶ 指定サービス工場にご相談ください。
イグニッションがオンのときに、表示灯が点灯しない。	表示灯が故障しているか、または電気ケーブルが遮断している。 ▶ 指定サービス工場にご相談ください。
エンジンがかかっている間、充電電流表示灯が点灯する。	ポリ V ベルトが滑っている。 ▶ ベルトテンショナーの機能を点検してください。 ▶ ポリ V ベルトの接触面に亀裂がない、損傷していない、油分の付着がない、またははてかりがないことを点検してください。 必要な場合はポリ V ベルトを交換してください。
	ポリ V ベルトが裂けている。 ▶ ポリ V ベルトを交換してください。
	オルタネーターまたはセンサーが故障している。 ▶ オルタネーターまたはセンサーを点検してください。 ▶ 指定サービス工場にご相談ください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンが"ノッキング"している。	<p>エンジンがミスファイアを起こしている。</p> <p>▶ 間違った燃料または低品質の燃料が補充された（軽油に関するサービスプロダクトの項目をご覧ください）（▶ 41 ページ）。タンクの燃料を交換します。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p>
エンジンが"ノッキング"している。	<p>ベアリングが損傷している。</p> <p>▶ 指定サービス工場にご相談ください。</p>
異音がする。	<p>吸気管および排気管に漏れがあり、ヒューという異音の原因となっている。</p> <p>▶ 漏れの原因を修理し、必要であればガスケットを交換してください。</p> <p>タービンまたはコンプレッサーホイールがハウジングにこすれている。コンプレッサーまたはタービンに異物が入っている。ベアリングが回転部品に引っかかっている。</p> <p>▶ 排気ガスターボチャージャーを指定サービス工場で点検してください。</p> <p>バルブクリアランスが大きすぎる。</p> <p>▶ バルブクリアランスを点検し、調整してください。</p> <p>ポリ V ベルトが滑っている。</p> <p>▶ ポリ V ベルトの接触面に亀裂がない、損傷していない、油分の付着がない、またははてかりがないことを点検してください。必要な場合はポリ V ベルトを交換してください。</p>

ポリ V ベルトの交換

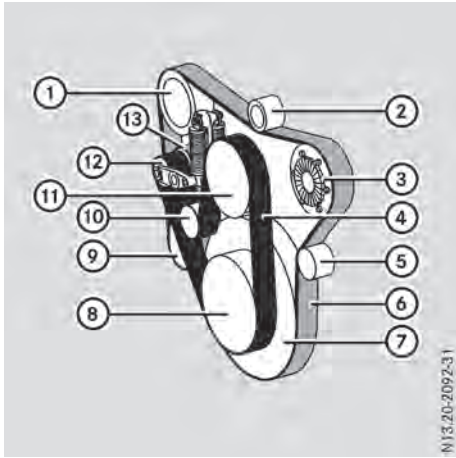
ポリ V ベルトが切れたり、損傷の状態を示している場合は、交換しなければなりません。

⚠ 警告

テンショナには、スプリングによるテンションがかかっています。ゆるんでいたりと、ピンと張っていたりすると、プリテンションがかかっている部品に押しつぶされたり、巻き込まれたりして、けがをするおそれがあります。

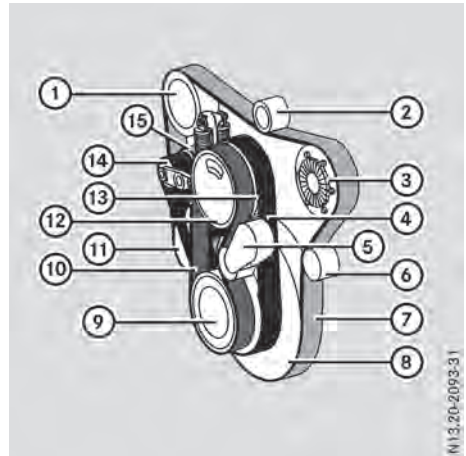
- 必ずテンショナに十分に注意して作業をしてください。
- 工具は正しく扱ってください。

ベルトの概要



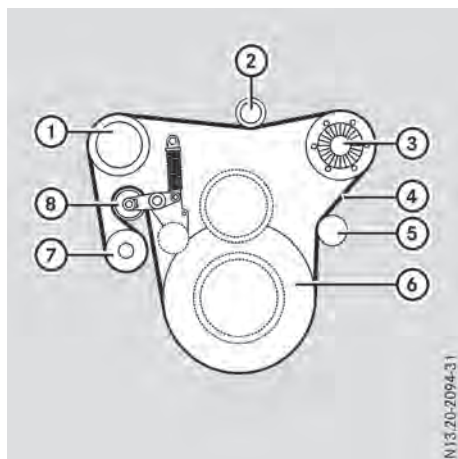
デュアルベルトシステム装備エンジン (ハイセットファン)

- ① 冷却コンプレッサーまたは交換用プーリー
- ② ガイドプーリー
- ③ 冷却水ポンプ
- ④ ベルトドライブ B (ファン)
- ⑤ ガイドプーリー
- ⑥ ベルトドライブ A
- ⑦ クランクシャフト
- ⑧ クランクシャフト (ファン)
- ⑨ オルタネーター
- ⑩ ガイドプーリー (タンデムテンショナー)
- ⑪ ガイドプーリー
- ⑫ テンションプーリーベルト B (タンデムテンショナー)
- ⑬ テンションプーリーベルト A (タンデムテンショナー)



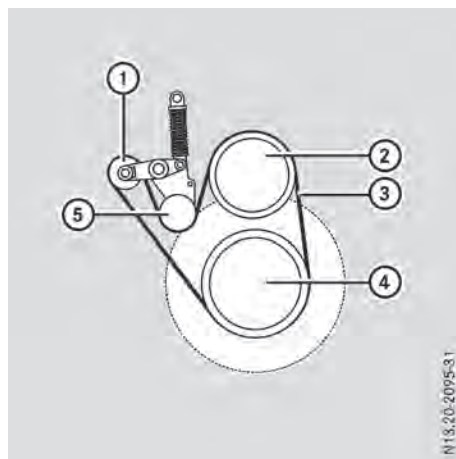
トリプルベルトシステム装備エンジン (クランクシャフト上のファン)

- ① 冷却コンプレッサーまたは交換用プーリー
- ② ガイドプーリー
- ③ 冷却水ポンプ
- ④ ベルトドライブ B (ファン)
- ⑤ テンションプーリーベルト C
- ⑥ ガイドプーリー
- ⑦ ベルトドライブ A
- ⑧ クランクシャフト
- ⑨ クランクシャフト (ファン)
- ⑩ ベルトドライブ C
- ⑪ オルタネーター
- ⑫ ファン
- ⑬ ガイドプーリー
- ⑭ テンションプーリーベルト B (タンデムテンショナー)
- ⑮ テンションプーリーベルト A (タンデムテンショナー)



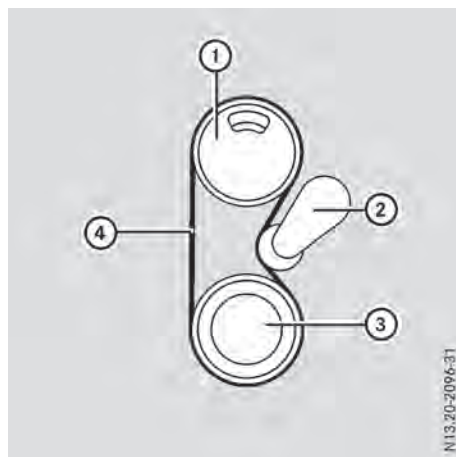
ベルトドライブ A

- ① 冷却コンプレッサーまたは交換用プーリー
- ② ガイドプーリー
- ③ 冷却水ポンプ
- ④ ポリ V ベルト
- ⑤ ガイドプーリー
- ⑥ クランクシャフト
- ⑦ オルタネーター
- ⑧ テンションプーリー (ベルトドライブ A)



ベルトドライブ B

- ① テンションプーリー (ベルトドライブ B)
- ② ガイドプーリー
- ③ ポリ V ベルト
- ④ クランクシャフト
- ⑤ ガイドプーリー (タンデムテンショナー)



ベルトドライブ C

- ① ファン
- ② ベルトドライブ C のテンショナー (ファン)

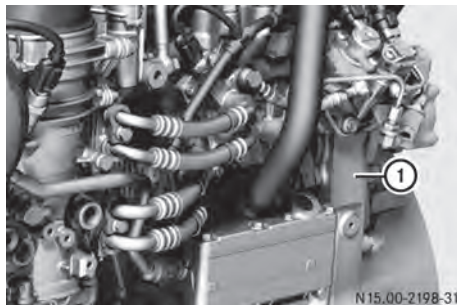
- ③ クランクシャフト
- ④ ポリ V ベルト

ポリ V ベルトの脱着

- ▶ ハンドルおよびエクステンションを取り付け、スパナをテンショナーに 15 mm 差し込みます。
- ▶ テンショナーを振り戻します。
- ▶ テンショナーもベルトプーリーも正常な状態であることをチェックします。テンショナー、テンションプーリー、ガイドプーリーのベアリングが摩耗していないか、ベルトプーリーの歯型が摩耗していないかといった損傷をチェックしてください。
- ▶ 不具合のある部品を交換します。
- ▶ テンションプーリー以外のすべてのベルトプーリーに新しいポリ V ベルトを取り回します（図に示されたポリ V ベルトの取り回しに従ってください）。
- ▶ スパナを取り外して、ベルトプーリーにポリ V ベルトが正しく取り付けられているかを確認してください。

識別プレート

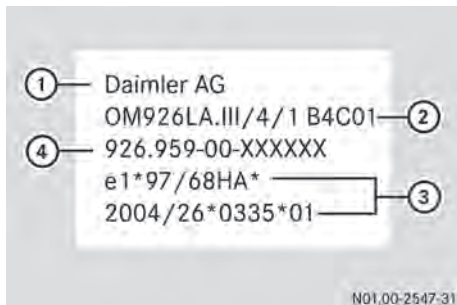
エンジンデータプレート



① エンジンデータプレートの位置

エンジンデータプレートの情報

以下のデータは、クランクケースの上に数字を直接示す形で、エンジンデータプレートに記載されています。

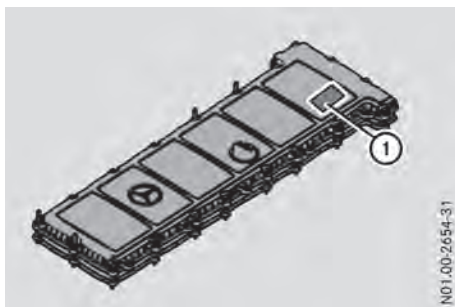


例：エンジンデータプレート

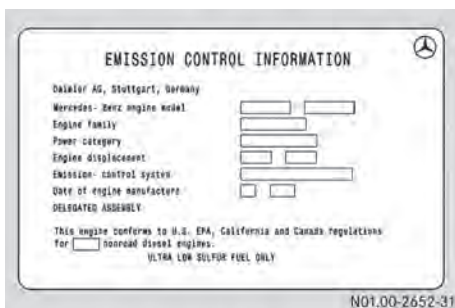
- ① メーカー名
- ② エンジンモデル記号表示
- ③ 型式承認番号
- ④ エンジン番号

排気ガス認定ラベル

US TIER 4 排出ガス認定のエンジンでは、排出物認定ラベル（EPA 認定）はシリンダーヘッドカバーにあります。



① 位置 Emission certification label (EPA Certification)



排気ガス後処理装置識別プレート (EU Stage IIIA 用ではない)

排気ガス後処理装置の識別プレートは、排気ガス後処理装置のコントロールモジュール（ACM）にあります。

排気ガス後処理装置の識別プレートの情報

排気ガス後処理装置の識別プレートには、排気ガス後処理装置の 14 桁の識別番号（AGN ID 番号）が含まれています。

データカード

データカードはエンジンに関する不可欠な書類の一部で、常に整備手帳と一緒に保管してください。これには様々な特徴を含む、エンジンおよび排気ガス後処理装置システ

ム的设计に関する特別な情報が含まれています。

データカードには、メルセデス・ベンツ工場からの納品範囲が記載されています。後の納品範囲の変更は、データカードには記録されません。

メルセデス・ベンツによって納品されるエンジンの範囲を変更することになるエンジンシステムの改造部品は、メルセデス・ベンツに報告してください。VeDoc で書類が更新されると、更新されたデータカードが供給されます。これは、交換部品の誤発注を防ぐために役立ちます。

メルセデス・ベンツ純正部品を購入するときには以下が必要です。

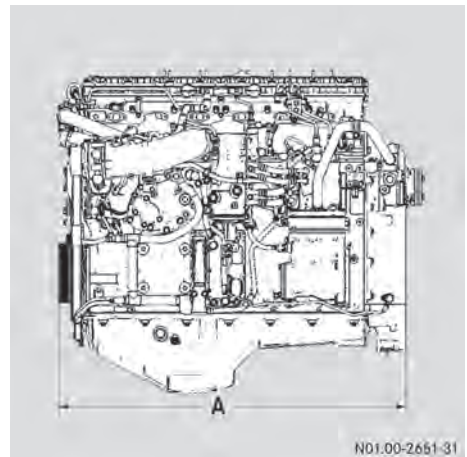
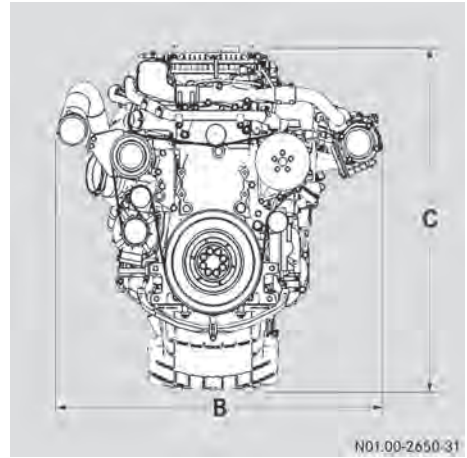
- データカードまたは
- エンジン番号全体および排気ガス後処理装置ユニットの番号

エンジンデータ

寸法および重量

すべてのデータは、各エンジン型式の標準仕様に言及しています。エンジン装備および車両/装備の取り付け状況によって、異なることがあります。

寸法



	6R 1100	6R 1300	6R 1500
A = エンジン長	1290 mm	1350 mm	1400 mm
B = エンジン幅	1120 mm	1120 mm	1120 mm
C = エンジン高	1100 mm	1130 mm	1150 mm

重量

	エンジン重量 DIN 70020 - GZ
6R 1100	950 kg
6R 1300	1083 kg

	エンジン重量 DIN 70020 - GZ
6R 1500	1235 kg

一般データ

すべてのデータは、各エンジン型式の標準仕様に言及しています。他の仕様のデータは、ご要望に応じてご提供いたします。

エンジン	エンジン型式	6R 1100	6R 1300	6R 1500
	アセンブリーモデル	470.907	471.919	473.905
	型式	排気ガス再循環システム付直列エンジンおよびチャージエアプレッシャーコントロール		
	燃焼方式	4 ストローク直噴ディーゼル		
	シリンダー数	6	6	6
	ボア	125 mm	132 mm	139 mm
	ストローク	145 mm	156 mm	171 mm
	エンジン排気量	10,700 cm ³	12,800 cm ³	15,600 cm ³
	点火順序	1 - 5 - 3 - 6 - 2 - 4	1 - 5 - 3 - 6 - 2 - 4	1 - 5 - 3 - 6 - 2 - 4
	冷却システムの種類	強制循環冷却		
	回転方向 (フライホイールで見たとき)	反時計回り		
バルブクリアランス	インテークバルブ	0.40 mm +/- 0.05 mm	0.40 mm +/- 0.05 mm	0.40 mm +/- 0.05 mm
	エキゾーストバルブ	0.60 mm +/- 0.05 mm	0.60 mm +/- 0.05 mm	0.60 mm +/- 0.05 mm

	エンジンブレーキ	4.6 mm +/- 0.05 mm	4.6 mm +/- 0.05 mm	4.6 mm +/- 0.05 mm
スターターモーター	スターター	電動	電動	電動
	電圧	24 V	24 V	24 V
	出力	7 kW	7 kW	7 kW
	冷間始動制限	- 30 °C (バッテリー容量 75%)		
オルタネーター	電圧	24 V	24 V	24 V
	電流	100 A	100 A	100 A

作動データ

最高許容エンジンブレーキ回転数	約 2300 rpm	
最大エンジントルクでのエンジン回転数 (排出レベル : EU Stage IV、US Tier 4)	約 1300 rpm	
定格エンジン回転数での定格出力 (排出ステージ : EU Stage IV、US Tier 4)	約 1700 rpm	
アイドリング回転数	約 500 rpm	
アイドリング回転数でのオイル圧力	最低 0.7 bar	
冷却水温度	通常運転	約 85~ 95 °C
	冷却水の最高許容温度 (103 °Cから 50%までの自動トルク制限)	110 °C

容量およびサービスプロダクト

- ① サービスプロダクトについての注意事項に従ってください (p 47 ページ)

		概算容量	サービスプロダクト (シート番号 ³⁾)
オイルフィルター付エンジン (オ	6R 1100	約 34 L/ 35 L/37 L	エンジンオイル (シート番号 228.3/.31/.5/.51)
	6R 1300	約 37 L/ 39 L/40 L	

3 サービスプロダクトについてのメルセデス・ベンツ仕様。

		概算容量	サービスプロダクト (シート番号 ³⁾)
イルパンに 応じて)	6R 1500	約 42 L / 47 L	詳細は、以下をご覧ください (▷ 48 ページ)
燃料システ ム	燃料タンク ⁴		2010 年以降の DIN EN 590 または ASTM D975 (シー ト番号 131.0) に準拠 した軽油 詳細は、以下をご覧 ください (▷ 41 ページ)
排気ガス後 処理装置シ ステム	AdBlue®/DEF タンク ⁴		ISO 22241 -1 (シー ト番号 352.1) に準拠 した AdBlue®/DEF 詳細は、以下をご覧 ください (▷ 52 ページ)
	AdBlue®/DEF フィル ターの不凍膜のシーリ ングビード	-	Biolube L spray www.molyduval.com
冷却システ ム	エンジン	6R 1100	防錆剤/不凍液 (シート 番号 325.5) または予 混合冷却水 (シート番 号 326.5)。水質 (シート番号 310.1)
	内の冷却	6R 1300	
	水の量	6R 1500	
	防錆剤/不凍液量 - 37 ° C まで	容量比約 50%	
	防錆剤/不凍液量 - 45 ° C まで	容量比最大 55%	
エンジン ルーム	保護ワックス	-	ワックス保存剤 (シー ト番号 385.4)

締め付けトルク

機械的構成部品のすべてのねじ山およびそれに対応する接触面は、清潔で、なめらかで、エンジンオイルが塗布されていなければなりません。その他の潤滑剤は、締め付けトルクが大きく異なってしまう原因となります。

3 サービスプロダクトについてのメルセデス・ベンツ仕様。

4 装備/車両に取り付け。装備/車両製造元による設計。

締め付けトルクは 6R 1100、6R 1300 および 6R 1500 と同じです。冷却システムには例外があります（表をご覧ください）。

エンジン	カムシャフトケースのシリンダーヘッドカバーボルト		20 Nm
	バルブクリアランスの設定	ロッカーアーム調整ボルトに取り付けるカウンターナット	50 Nm
	エンジンブレーキの設定	エンジンブレーキロッカーアーム調整ねじのカウンターナット	50 Nm
	フライホイールハウジングの TDC 点検穴キャップのねじ		30 Nm
	タイミングケースのクランク装置のねじ		30 Nm
燃料システム	燃料フィルターモジュールの燃料フィルターキャップ		55 Nm
	燃料フィルターモジュールの燃料プレフィルターキャップ		55 Nm
ウォーターセパレーター	ドレンプラグ		手の力での締め付け
オイル回路	オイルパンの差し込み接続（ねじ付き）のないドレンプラグ	M20 x 1.5	65 Nm
		M22 x 1.5	70 Nm
		M26 x 1.5	85 Nm
	オイルパンの差し込み接続のあるドレンプラグ（スプリングプリテンション付スナップジョイント）		できるだけいっぱいまで締め付けます
オイル/冷却水モジュールのオイルフィルターキャップ		55 Nm	
冷却システム 6R 1100	オイル/冷却水モジュールのドレンプラグ		55 Nm
冷却システム 6R 1300 6R 1500	クランクケースのドレン装着	M18 x 1.5	30 Nm
排気ガス後処理装置	ポンプモジュールのフィルターハウジング		80 Nm
エアドライヤー	エアドライヤーの粒状カートリッジ		15 Nm

発行物の詳細

インターネット

MTU、メルセデス・ベンツおよび Daimler AG についてのさらなる情報は、以下のオンラインにあります。

www.mtu-online.com

www.mercedes-benz.com

www.daimler.com

文献チーム

©Daimler AG : Daimler AG からの書面による許可なく、本書の全部または一部を複製、翻訳または複製することはできません。

部品メーカー

Daimler AG
Mercedesstraße 137
70327 Stuttgart
Germany



4705844981

Order no. 6462 9884 20 Part no. 470 584 49 81 Edition 12-16